

第5回 中心市街地賑わい再生社会実験 専門部会

資料

目次

1. 前回の意見概要
2. ひろば・多目的スペースの利用状況
3. ひろば・多目的スペースに対するニーズ把握
4. 社会実験の効果検証（中間報告）
5. これまでの運営を踏まえた課題と対策
6. 自主事業の活動について紹介
7. 今後の進め方

平成27年11月13日（金）

松山市 都市整備部 都市デザイン課

1. 前回の意見概要

表 意見概要とその対応について

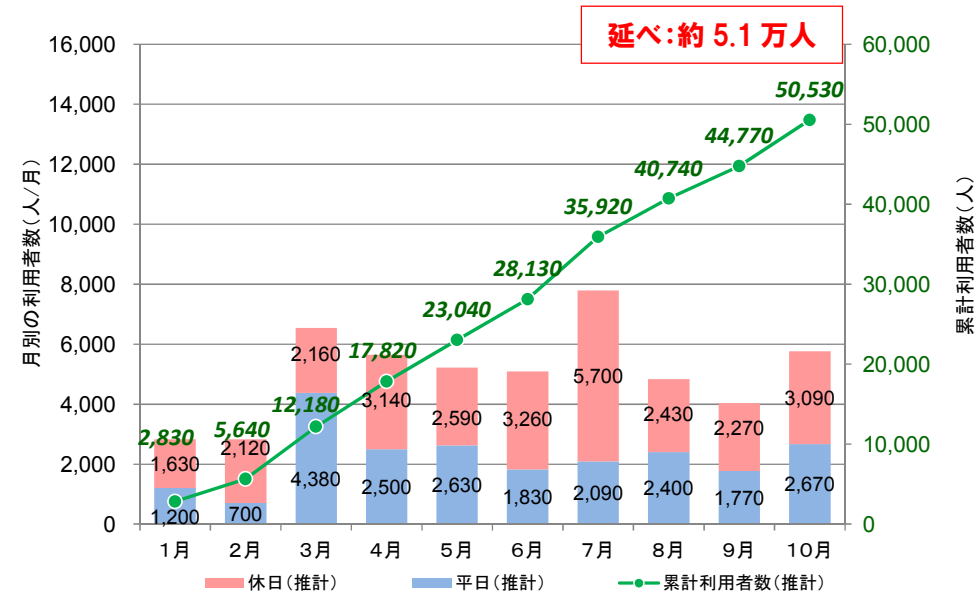
第4回専門部会での主な意見 (H27.5.26 (火))		事務局の応答	対応結果
分類	内容		
利用状況 について	・正式な占有使用以外の一般利用についてどのような活動をしたか観察・記録して把握することも重要。	—	・施設の“休憩”利用者について細分化して1週間のサンプル調査を実施 【P.2-3~2-4】
	・ビジネスマンが仕事に使うケースや、読書や休憩など、利用の目的をデータとして蓄積しておく必要がある。	—	・夜市の日併せて「ひろば」に分別ゴミステーションを設置 (17:00~21:00)
	・土曜夜市は、ごみが凄いのので、ごみ分別プログラムのようなことをしても良いと思う。	—	・本棚・蔵書及び貸出サービス (まちライブラリー) の自主事業の取り組み 【P.6-2】
	・利用者層が固定化しており、新規の利用層を引き込むことはうまくいっているのか。	—	
	・学生やビジネスマンが平日にまちに来る目的を作る段階に来ている。例えば、「楽しみがある」という理由でも良く、その結果、プログラムや事業などの連携の要望も増えてくる。	—	
情報発信	・周辺路地裏マップの作成について、具体的に伺いたい。	・学生スタッフの方を中心に企画し、路地裏の店舗の方にアンケートを協力してもらっている。	・「ご近所紹介マップ」【別添資料】 ・継続的にマップ更新・リバイスを図る。
	・お城下では歴史の紐を解いて、「通り」に名前をつける運動をしている。		
	・歴史のデータや店舗情報がうまく入ったマップが出来ると良い。	・二番町通り、JR 松山駅周辺、花園、道後の事業のポスターを展示予定	・プロジェクトのパネルを展示
	・この場の概要を説明するパネルがない。	—	・模型設置 (本日サンプルを提示)
管理	・例えば、イベントや遍路道の掃除などは、若い人の力が集まり、組織が出来やすい。我々がイベントを積極的にやるよりは、ここをサポートするところに使ってもらってはどうか。	—	・「ひろばのはたけ」プロジェクトの立ち上げ ・作物の栽培を通じて1つのきっかけとして、交流やコミュニティ形成を醸成し、管理等の課題に展開。 【P.6-1】
	・ひろばの利用者は主婦と子供、多目的スペースは女子高生の利用がかなり多いが、受動的な利用が多い。そのような利用者にもまちづくりに関わってもらえると良い。		
運営ルール・ 基準について	・室内での行事に関しては、基本的には金銭の授受は禁止ということだが、外でフリーマーケットをする場合、事業主体がしっかりしていて、公益性があれば、構わないのか。	・運営委員会で審査するが案件であるが、公益性があり、企画が整理されていれば、許可される可能性がある。	・社会実験運営委員会にて使用基準の見直し・改善や料金等のルールについて随時議論を実施。 【P.7-1】
	・この施設では、施設を借りているお金など、管理費が掛かっているため、現実的には使用料の徴収などのやり方が出てきてもよいと考える。 ・パブリックなものは無料にするとか、収益が上がるものについては入場料を取ったりするとかいうことは、次に考えなければいけない。	—	

2. ひろば・多目的スペースの利用状況

2.1 みんなのひろばの利用状況

①利用者数（推計※）

- ・調査開始の1月以降の延べ利用者数は、約 51,000 人に達した。平日は約 100 人/日、休日は約 220 人/日（夜市を除く）が市民の憩いの場、賑わいの場として利用している。
- ・スプリングフェスタや夜市などの商店街イベント時には、多くの一般市民が休憩利用した。（夜市時には、約 1,100 人/日が利用）



※推計：平均利用者数（調査結果）を各月の日数（平日・休日別）を乗じて換算（土曜夜市の利用者数・日数も考慮）した推計値。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
平日	カウント人数(平均)	63人	37人	199人	119人	146人	83人	95人	116人	93人	127人
	日数	19日	19日	22日	21日	18日	22日	22日	20日	19日	20日
休日	カウント人数(平均)	181人	235人	240人	349人	199人	222人(966人)	158人(1227人)	142人(1084人)	206人	309人
	日数	9日	9日	9日	9日	13日	6日(2日)	5日(4日)	6日(1日)	11日	10日

注1) ()内は土曜夜市の日数及びカウント数 注2)8月は、土壘プール(平日1日、休日2日)、お化け屋敷(休日1日)の参加人数を別途計上

②利用者属性

- ・平日・休日共に、多くの親子連れが利用する様子がみられる。
- ・また、平日の夕方には、高校生などが集まって賑わう様子もみられる。

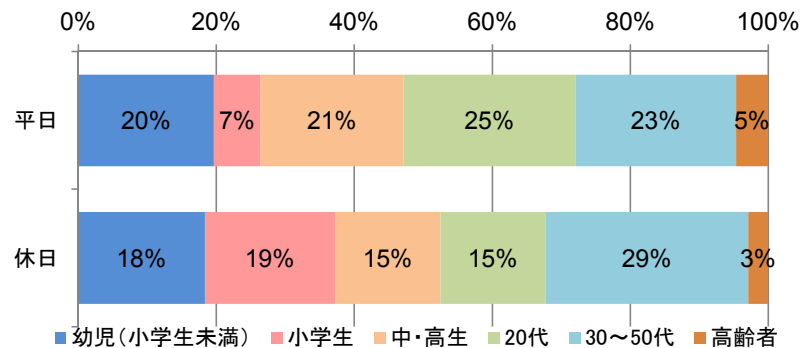


図 利用者属性 (H27.1~H27.10月)

資料/ひろば利用者カウント調査

③利用の様子



▲平日の利用の様子



▲平日の利用の様子



▲休日の利用の様子



▲休日の利用の様子



▲土曜夜市の様子（日中）



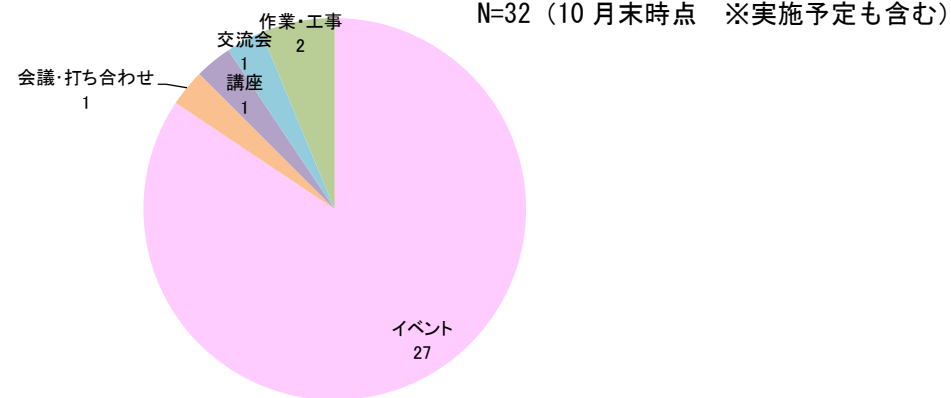
▲土曜夜市の様子（夜間）
※21時まで時間延長

2. ひろば・多目的スペースの利用状況

2.2 みんなのひろばの占用使用状況

・みんなのひろばの占用使用は、約9割をイベントが占め、家族連れを対象とした賑わいイベントが多く開催された。

①占用使用の活動分類



▲スプリングフェスタの様子
(お菓子撒き)



▲土嚢プールの様子
(UDS 学生企画)



▲噴水での納涼イベント



▲ひろばのはたけ
(受付スタッフプロジェクト)

②主な占用使用の活動の様子

占用行事(概要)	状況
1 DIY 柵づくり 主催:事務局 日時:H26.12.13 対象:自由参加 参加費:無料 参加数:約 30 人	9 アドラ心理学による子育て法「公園デビュー」 主催:てくるん 日時:H27.3.26、H27.6.1 対象:予約制 参加費:無料 参加数:約 40 人
2 チキチキダンスバトル冬の陣 主催:まちおこしパフォーマーズ 日時:H26.12.23 対象:予約制 参加費:有料 参加数:約 50 人	10 JCI NOTHING BUT NETS キャンペーン 主催:日本青年会議所 日時:H27.4.25 対象:自由参加 参加費:無料 参加数:約 20 人
3 親子で高める運動能力 主催:スポ-ツインタ-フェ-ス 日時:H26.12.27 対象:予約制 参加費:有料 参加数:約 20 人	11 賑わいイベント in 土曜夜市 主催:事務局 日時:H27.6.27~8.1 対象:自由参加 参加費:無料 参加数:100 人以上
4 「ひめキュン」ライブ 主催:銀天街第一商店街組合 日時:H26.12.30 対象:自由参加 参加費:無料 参加数:約 100 人	12 「科学教室」 主催:てくるん×事務局 日時:H27.7.28 対象:予約制 参加費:無料 参加数:約 30 人
5 DIYベンチ試作 主催:事務局 日時:H27.2.7、3.14 対象:自由参加 参加費:無料 参加数:約 50 人	13 お化け屋敷イベント 主催:UDCM×河内俊樹 日時:H27.8.6~9 対象:自由参加(当日受付) 参加費:有料 参加数:約 60 人
6 復興イベント 主催:松山市 日時:H27.3.7 対象:自由参加 参加費:無料 参加数:約 100 人	14 まちなかにプールをつくる 主催:UDS 小川直史 日時:H27.8.17~24 対象:自由参加(当日受付) 参加費:無料 参加数:約 500 人
7 まちなかフリーマーケット 主催:松山ビジネスカレッジ 日時:H27.3.15 対象:自由参加 参加費:無料 参加数:約 80 人	15 ひろばのはたけ 主催:事務局×UDCM 日時:H27.9.26、10.18 対象:登録メンバー 参加費:無料 参加数:約 20 人/回
8 ①スプリングフェスタに伴う行事 ②てくるん三周年との合同企画 主催:てくるん×事務局 日時:H27.3.21~22 対象:自由参加 参加費:無料 参加数:①約 160 人+②約 60 人	

2. ひろば・多目的スペースの利用状況

2.3 多目的スペースの利用状況

①利用者数

・多目的スペースの利用者数は、オープンした11月以降の累計で約18,000人となっている。

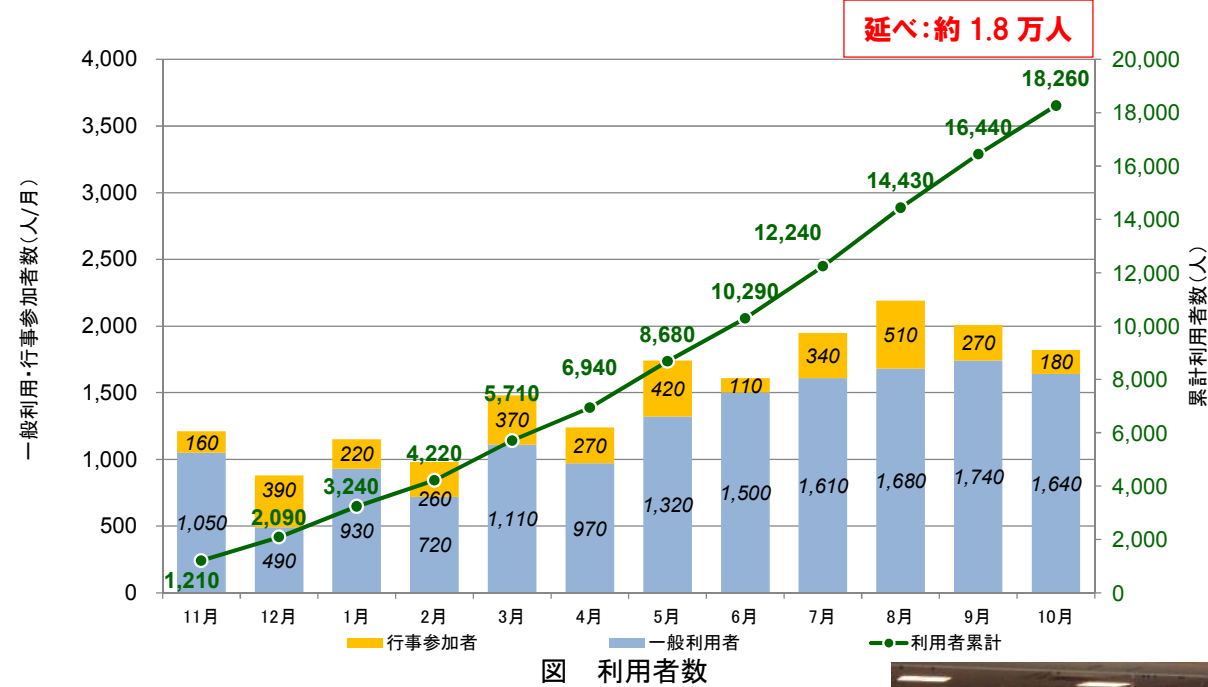
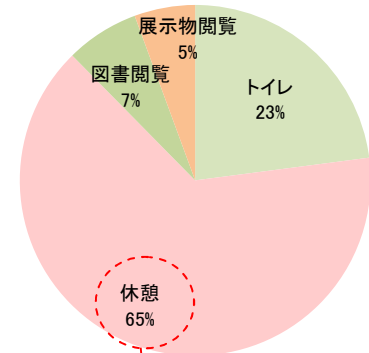


図 利用者数

②一般利用者属性

【平日】

N=7,470



【休日】

N=7,292

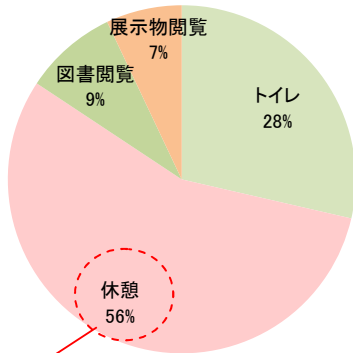


図 利用者属性 (H26.11~H27.10月) 資料/多目的スペース利用者
カウント調査

※休憩を細分化して追加調査 (H.27.9.8 (火) ~H27.9.14 (月) の1週間)

分類	活動の詳細
①雑談・軽食	純粋な休憩やクレープ・アイスなどを食べつつ雑談する方
②食事	ランチや夕食などの食事のみを目的に利用する方
③デスクワーク	仕事・勉強・少人数の会議などで利用する方
④その他の休憩	上記のどれにも属さない休憩



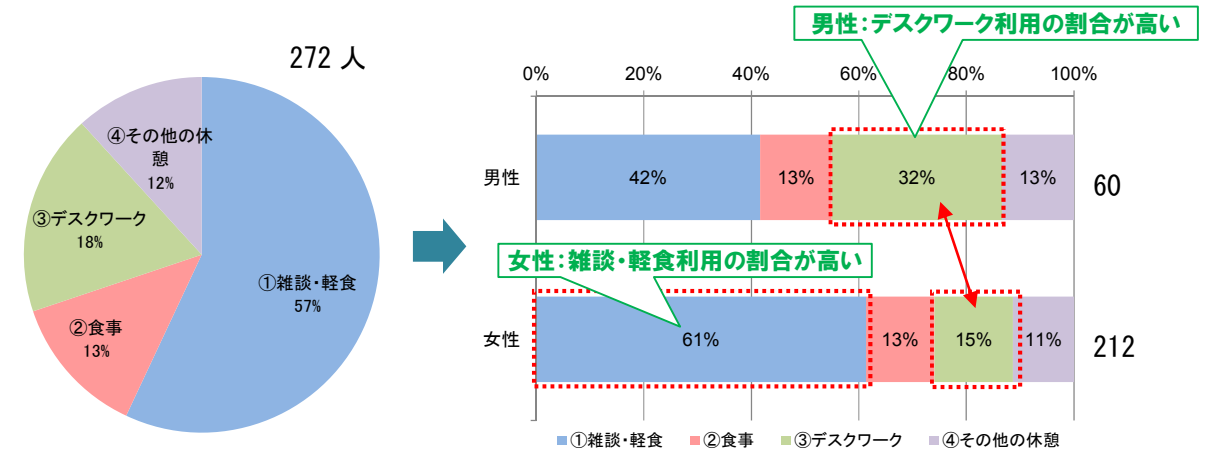
平日に中高生が休憩する様子 (H27.5)



土曜夜市の様子 (H27.8)

③“休憩”利用の詳細

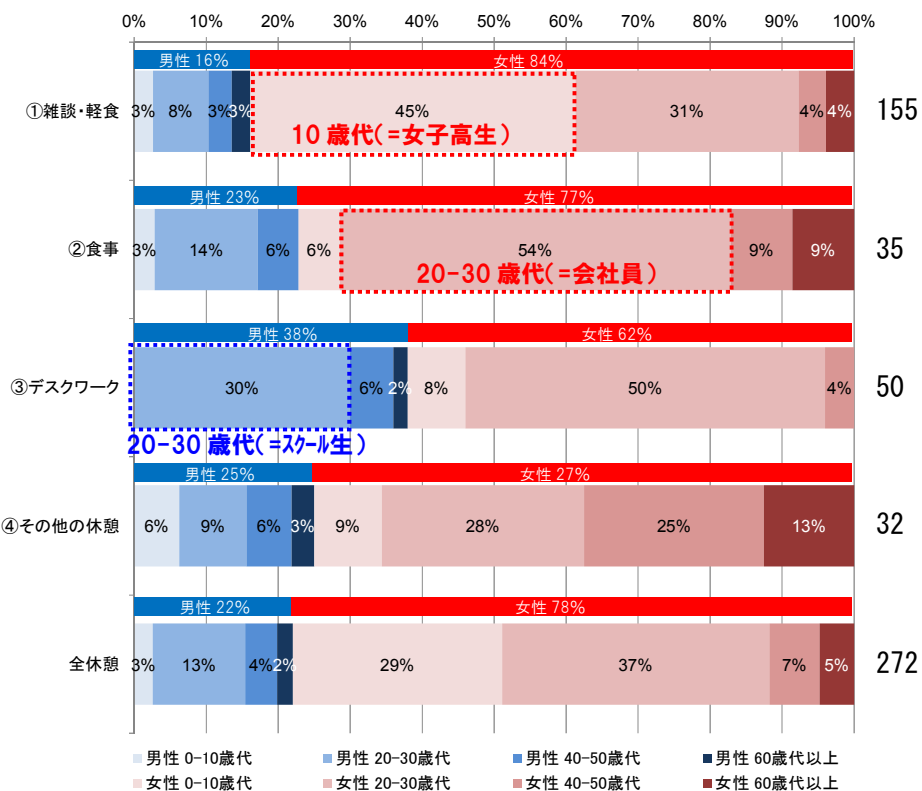
- ・約6割が「①雑談・軽食」の利用。
- ・次いでデスクワーク (仕事・勉強・少人数の会議) が約2割。
- ・男女別の利用人数に差があるものの、女性は「①雑談・軽食」の割合が高く、男性は女性に比べて、「③デスクワーク」の割合が高い傾向にある。



資料/多目的スペース利用者カウント調査 (追加調査)

④男女・年齢別の休憩属性

- ・「①雑談・軽食 (N=155)」休憩で最も多いのは、10歳代の女性。(主に女子高生)
- ・「②食事 (N=35)」休憩で多いのは20~30歳代の女性で約5割を占める。



資料/多目的スペース利用者カウント調査 (追加調査)



高校生が休憩する様子



デスクワークをする学生 (男性)



食事休憩をする社会人 (女性)

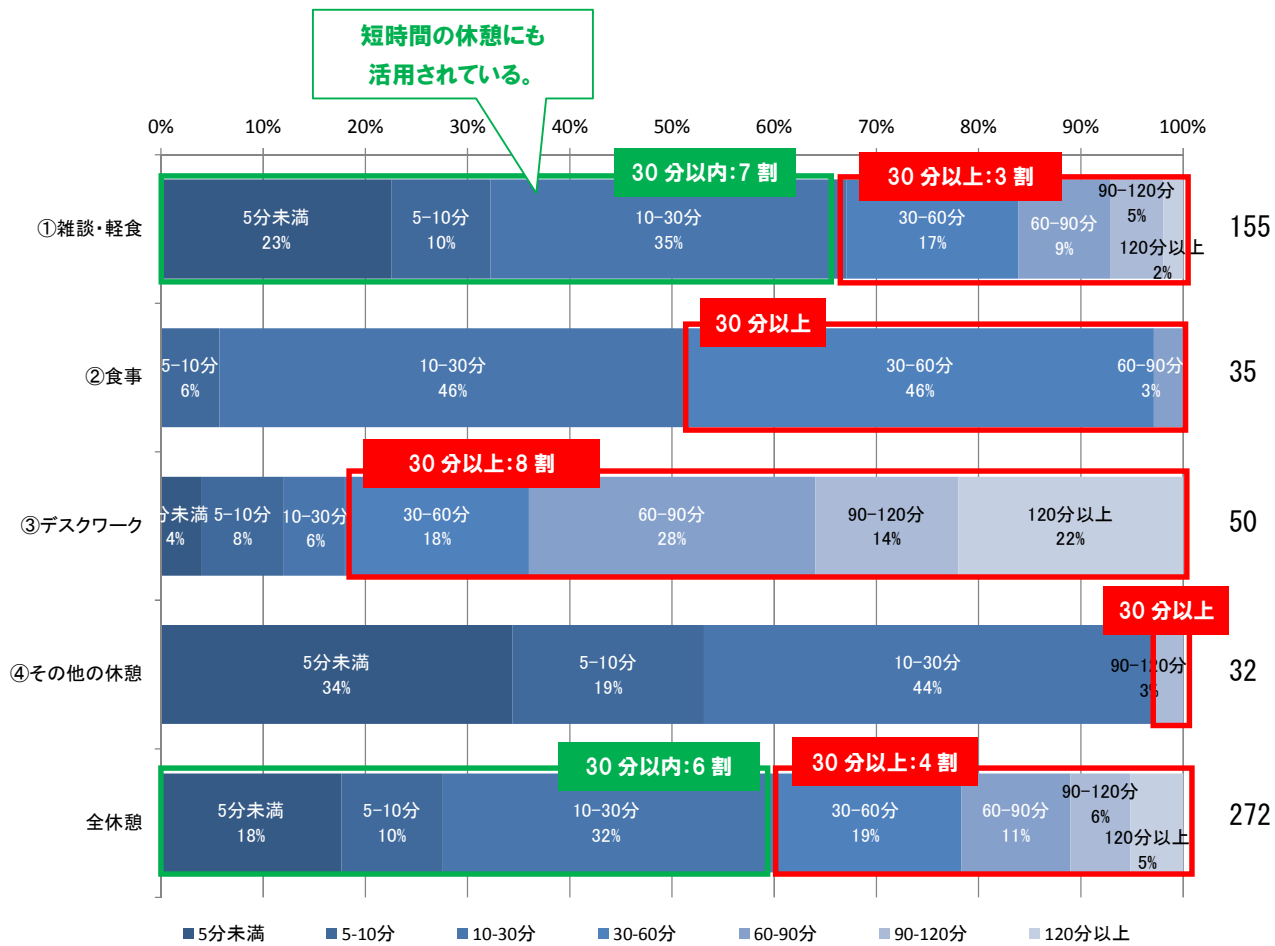
2. ひろば・多目的スペースの利用状況

⑤ 休憩利用別の滞在時間

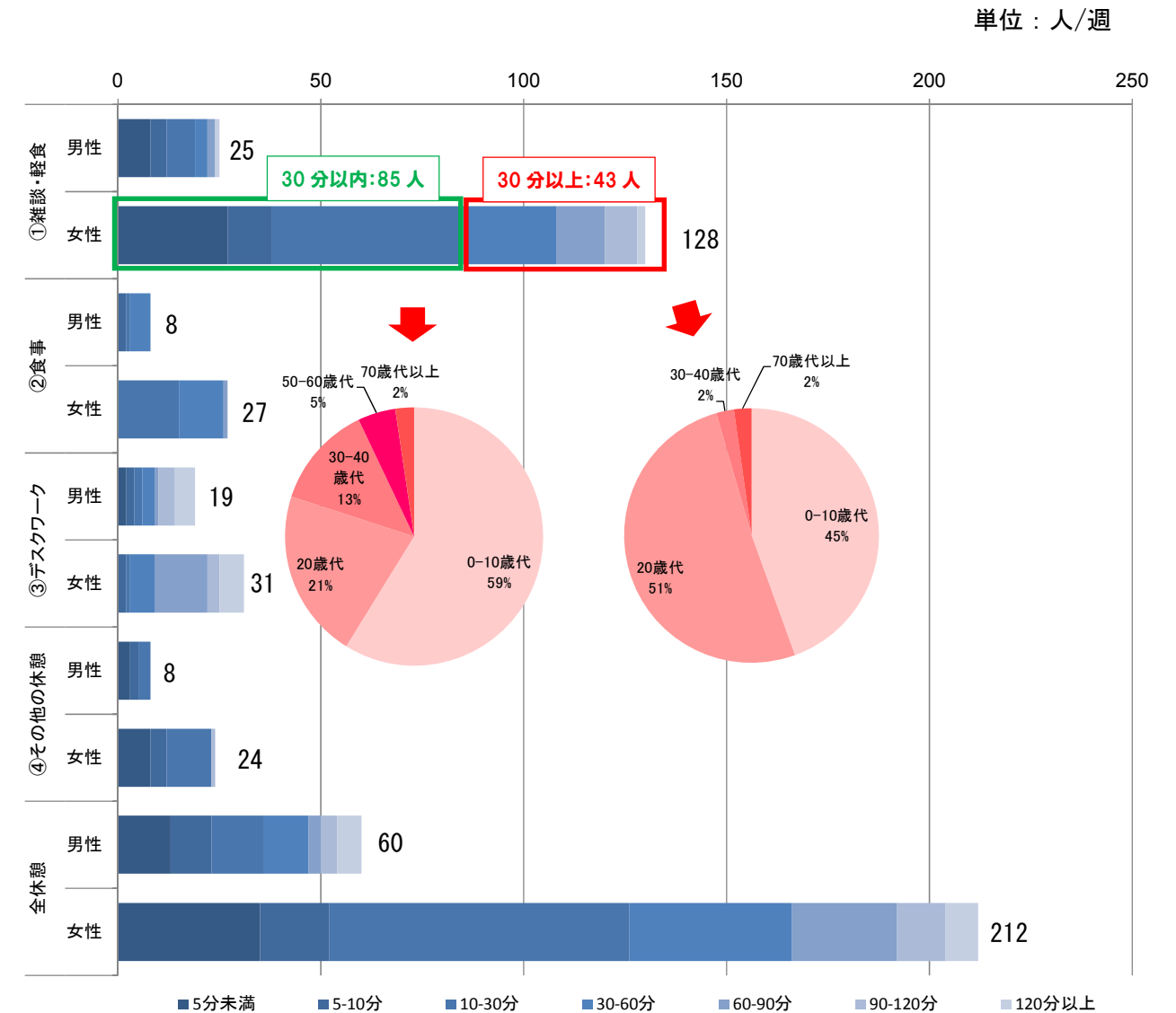
- ・「①雑談・軽食」では、約7割が30分未満の休憩程度となっているが、30分以上の割合が約3割（N=51人）、更に60分以上の割合が約2割（N=25人）という状況。
- ・「③デスクワーク」では、約8割が30分以上となっており、主にUDCMの先生方に関連した打合せやスクール生による利用が多く、本来的な利用がなされている。
- ・「④その他休憩」は、「待ち合わせの時間つぶし」、「スマホ使用」、「学生作のパズルで遊ぶ子供とその親」などによる休憩であった。
- ・“休憩利用者”全体でみても約6割が30分以内、約4割が30分以上。

⑥ 男女別・休憩利用別の滞在時間（規模）

- ・規模で比較すると、女性が「①雑談・軽食」で利用するケースが最も多い。
- ・「①雑談・軽食」で利用する女性のうち、30分以内の85人のうち約6割が10歳代と、以前から話に挙がっていた女子中高生の短時間利用が定量的に把握された。
- ・また、30分以上の長時間利用者である43人のうち10歳代・20歳代が9割以上となるなど、若い女性に偏りがあることも分かる。
- ・以前から指摘がある「長時間利用の女子高生」などについては、長時間、雑談利用することで他の利用者の妨げにならないように配慮することは必要と思われる。



資料／多目的スペース利用者カウント調査（追加調査）

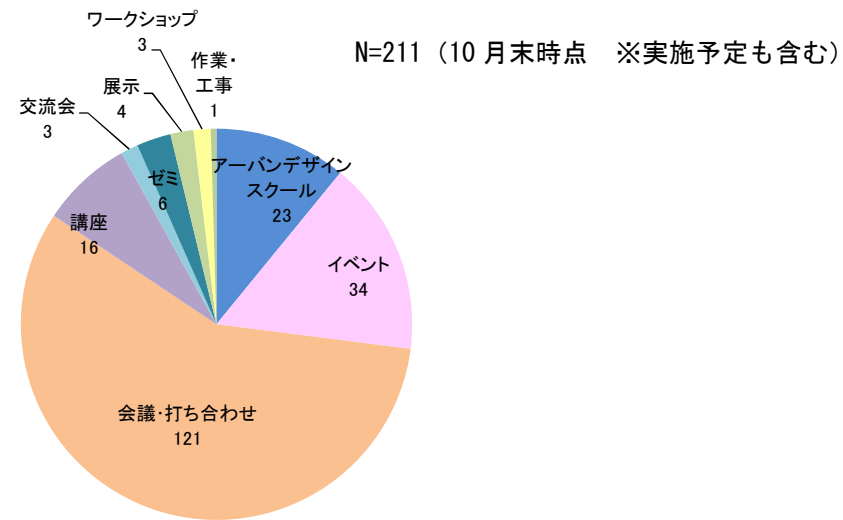


2. ひろば・多目的スペースの利用状況

2.4 多目的スペースの占用使用状況

・多目的スペースは、「会議・打合せ」での占用使用頻度が高いが、賑わいイベントやまちなかに関連した展示など幅広い分野において使用されている。

① 占用使用の活動分類



② 主な占用使用の活動の様子

占用行事(概要)	状況
1 会議・打合せ ※日常的に会議や打ち合わせで使用	
2 展示	 <p> 作画コンクール展 (H26.12) ことばのハンカチ展 (H27.3) 勝田銀次郎展 (H27.6) 松山のまちなか振り返り展 (H27.6) </p>

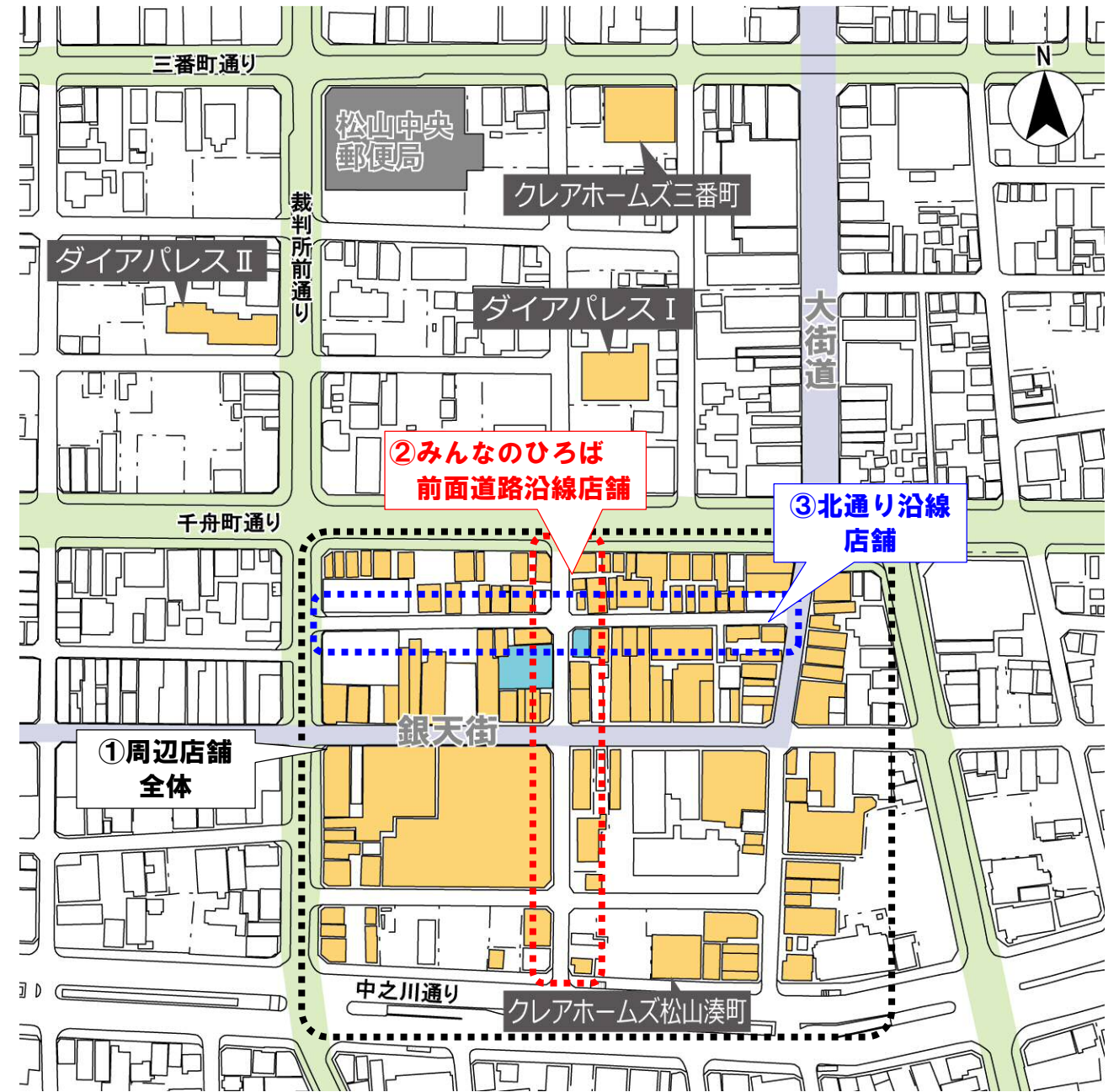
3 アーバンデザインスクール	
4 イベント	 <p> クリスマス飾り作りイベント (H26.12) 納涼落語会 (H27.7) セタイイベント (H27.7) ひろばのはたけ (H27.9) </p>
5 講座	 <p> プログラム講習会 (H27.1) 今治タオル体操体験会 (H27.6) </p>
6 ワークショップ	 <p> SENSE ワークショップ (H26.12) 壁画ワークショップ (H27.4) </p>
7 ゼミ	 <p>愛大のゼミ (H26.11)</p>

3. ひろば・多目的スペースに対するニーズ把握

3.1 各種実施調査の一覧

調査名	種別	調査頻度	内容	備考
①ひろば利用者カウント調査	カウント	隔週調査 平・休（月4日間）	・時間帯別 ・年齢層別	H27.1月～
②多目的スペース利用者 カウント調査	〃	毎日調査	・日別 ・活動別	H26.11月～
③ひろば利用者アンケート調査	アンケート	隔週調査 平・休（月4日間）	・認知度 ・来街状況 ・満足度 等	H27.1月～
④多目的スペース利用者 アンケート調査	〃	隔週調査 平・休（月4日間）	・認知度 ・来街状況 ・満足度 等	H27.1月～
⑤占用使用者アンケート調査	〃	適宜調査	・使用目的・理由 ・満足度 ・効果 等	H27.1月～
⑥街頭アンケート調査	〃	定期	・認知度 ・来街状況 ・満足度 等	H26.12 実施 H27.8 実施
⑦企業アンケート調査	〃	必要に応じて調査	・認知度 ・参加意向 ・CSR活動	H27.3月実施
⑧周辺住民・店舗アンケート調査	〃	定期		H27.3月実施 H27.8月実施
⑨ひろば前通行量調査	カウント	定期調査 (6、7、9、12、2月)	・12時～16時 (4時間) ・30分単位	H27.6月実施 H27.7月実施 H27.9月実施
⑩多目的スペース利用者 カウント調査（追加調査）	カウント	H27.9.8～H27.9.14 (1週間)	活動別のカウン トのうち「休憩」 を細分化し調査	
⑪利用者インタビュー調査	インタビュー	H27.7.25(土) H27.8.1(土)	継続意向	土曜夜市に 実施

【周辺住民・店舗アンケート対象】



※1) 周辺店舗の分析区分

①周辺店舗全体（右図黒破線（）のエリア）

・全対象店舗【H27.3調査:184店舗、H27.9調査:166店舗】

②ひろば通り沿線店舗（右図赤破線（）のエリア）

・UDCM・ひろばの前面道路に面した近隣の14店舗

③北通り沿線店舗（右図青破線（）のエリア）

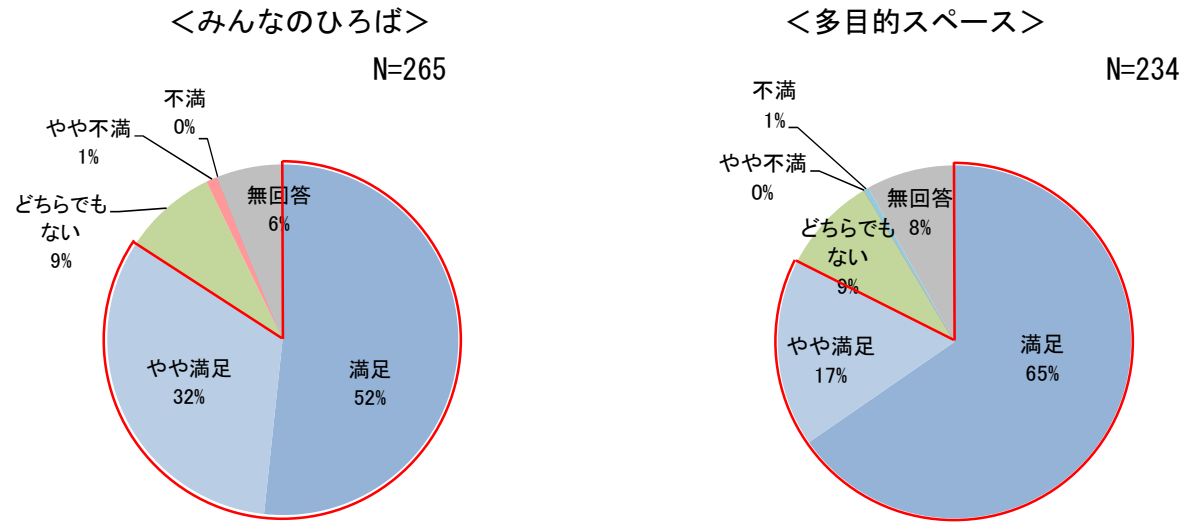
・UDCM・ひろば北側の路地に面した店舗【H27.3:30店舗、H27.9:24店舗】

3. ひろば・多目的スペースに対するニーズ把握

3.2 満足度

(1) 一般利用者

・利用者の満足度は、非常に高く、ひろば・多目的スペース共に約8割が「満足+やや満足」を回答。



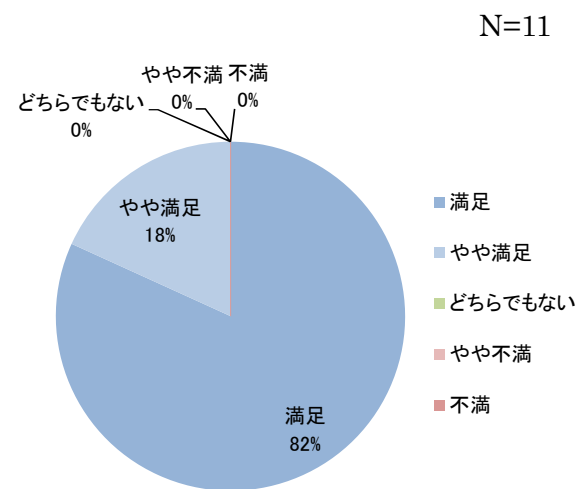
資料/ひろば利用者・多目的スペース利用者アンケート調査

(2) 占用使用者

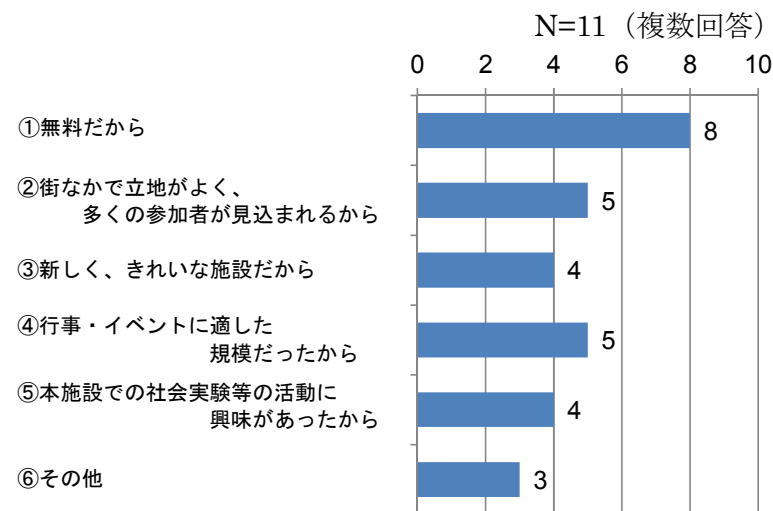
・みんなのひろば・多目的スペースの占用使用者による使用後の満足度は高く、今後も利用したいという意向がある。

・使用した理由としては、「無料だから」が最も多いが、まちなかの立地や実験に興味を持ったとの意見も多い。

(1) 使用者の満足度



(2) 占用使用した理由



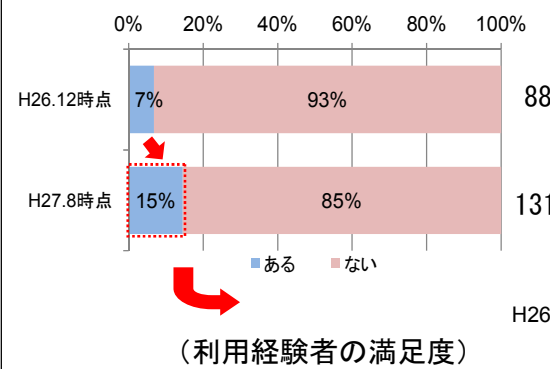
資料/占用使用者アンケート調査(※事務局・UDCM等関係者を除く占用使用者を対象とした調査)

(3) 来街者

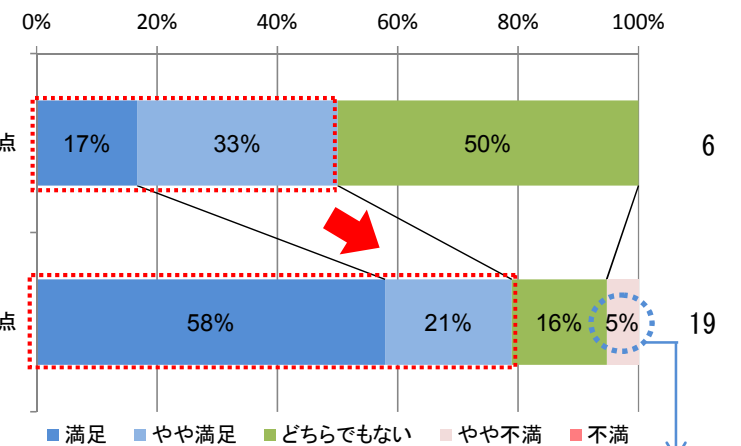
・利用経験者の満足度は、開始後2ヵ月時点(H26.12)に比べ、確実に増加しており、「どちらでもない」の曖昧な回答割合が減少。
 ・みんなのひろばに関しては、利用経験者の約8割が「満足」「やや満足」と回答しており、利用後の満足度が高いことが伺える。

<みんなのひろば>

(来街者の利用経験)



(利用経験者の満足度)

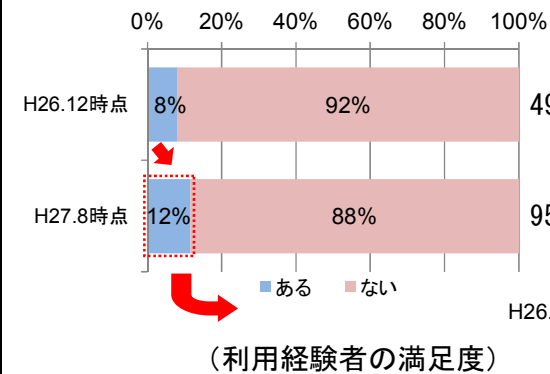


(コメント)
 何もなさそうなので中には入らなかった。
 今利用してきたが狭い！今日は特別利用している人が多かったのか、とにかく狭い！

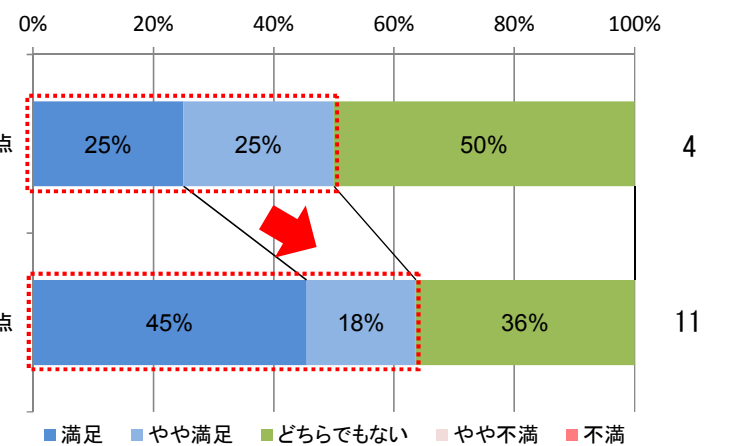
※調査日当日に「プールイベント」「道後鉄道記念ウォーク」のイベントが重なり、一般利用が制限されていたためと思われる。

<多目的スペース>

(来街者の利用経験)



(利用経験者の満足度)



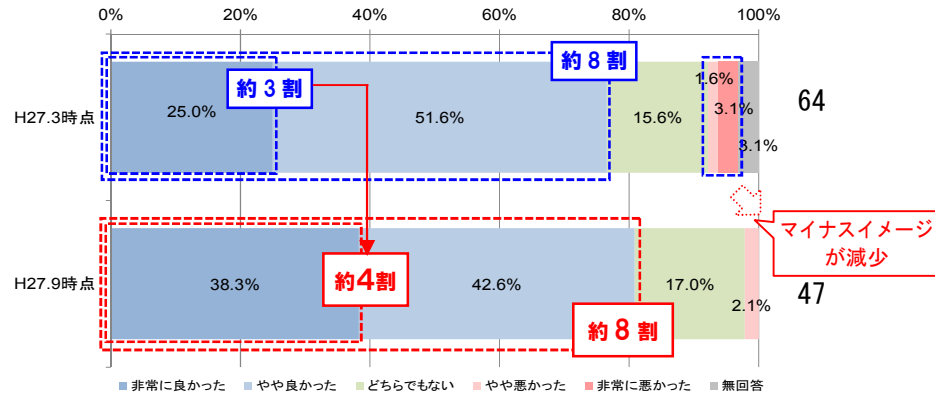
資料/街頭アンケート調査 (H26.12、H27.8実施)

3. ひろば・多目的スペースに対するニーズ把握

3.3 UDCM・ひろばが出来たことに対する意向

(1) 周辺住民

・「非常に良かった・やや良かった」との評価は約8割とほぼ同じ割合であるが、「非常に良かった」とする高評価が約3割から約4割に増加。更に、「非常に悪かった」という意見が無くなっている。



「非常に良かった・やや良かった」を回答した方の自由意見

意見の分類	UDCM・ひろばができてどう考えるか(非常に良かった・やや良かった)
子どもの遊び場として	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の遊び場ができた。(3) ・明るくなることにより治安面も良いと思われる。 ・買い物だけでなく子供を遊ばせる事ができる(2) ・街なかだと子どもが遊べる所が無く、みんなのひろばができて良かった。イベントなどがあると、街なかへ出たくなる。(3) ・街に住んでいて、子供が遊べるところが少なく、車でわざわざ遊びに行くということも面倒な時はとても助かると思います。
イベントなどの活動に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が遊べるスペースは良い取り組みだと思います。プールは良かったかな？もう少し早く設置すると良いですね。 ・夏祭りの時や外出時休憩ができる。子供が遊べて、お散歩ができる ・松山の商店街は広い割にお店も空き店舗が多い。お祭りの時以外、人通りが少な過ぎる。 ・色々なイベントをしてきて、子供を遊ばせる所ができて、本当にありがたい。
賑わい・活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・街なかの遊び場が増えた・学生の活気が向上した気がする(様々な活動の場になっている) ・人通りが増えた。若い人や子供が多くなった。銀天街にも賑やかさが、戻ってきている様だ。(2) ・何か地域的な活動をしているなあという雰囲気が、治安の悪化を防ぐのではと思う。 ・気軽に集える場所が世代によって極めて少ない現状だけに、このような場の出現は喜ばしい ・空家や駐車場にしておくよりは、街に活気が出ると思う
まちなかのイメージ・雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの空間があり、そこでくつろいでいる人々を見るだけでもほっとする。 ・誰もが気軽に無料で一休みできる場所があるのは、良い事。誰かが「まち」を良くしようと見守ってくれているのは安心できる。 ・壁の絵も素敵だし、子ども連れで街なか遊べる場所あることがいい。色々イベントを催して工夫が感じられる ・地域について真剣に取り組んでいる姿が「見える化」した ・イベントをしたりすることで子供達大人達が知り合うことで仲間意識が出来る。防犯にも良いのでは ・市民が自由に集まる拠点になるから。
憩い	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩、憩いの場所として良い(2) ・大街道や銀天街には、座って休める空間が少ないので、みんなのひろばが出来て良かったと思う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自分は参加したことはないが、参加者は増えている ・無いよりあった良いです。必要な方々に利用しやすいので、良かったと思います。

※(数値)は同類の意見数

資料/周辺住民アンケート調査 (H27.3、H27.9実施)

(2) 周辺店舗

①周辺店舗全体※1)

・「非常に良かった・やや良かった」のプラスイメージが約3割 → 約5割に増加。

②ひろば通り沿線店舗※1)

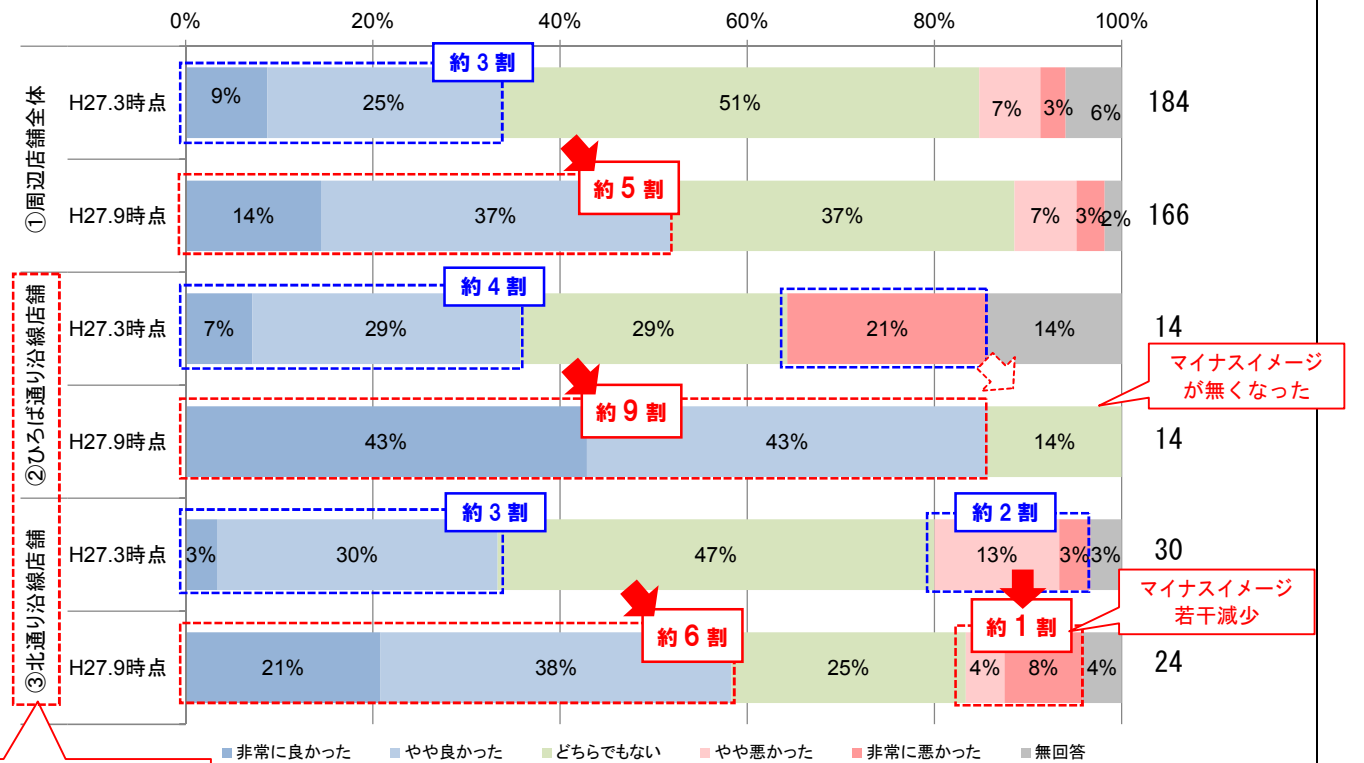
・「非常に良かった・やや良かった」のプラスイメージが約4割 → 約9割に大幅増加。
 ・3月時点では存在したマイナスイメージが無くなっている。

③北通り沿線店舗※1)

・「非常に良かった・やや良かった」のプラスイメージが約3割 → 約6割に増加。
 ・マイナスイメージも若干減少している。

【変化に対する考察】

・オープン以降、時間の経過と共に周辺店舗からの印象は、向上しているものと思われる。
 ・しかしながら、近隣店舗とその他周辺店舗との差があり、まちなか一体で、有益な施設・場所となるような工夫も引き続き検討していくことが重要。



ご近所紹介マップ等でコミュニケーションを図ったエリア

※1) 分析区分 (P.3-1 参照)

資料/周辺店舗アンケート調査 (H27.3、H27.9実施)

3. ひろば・多目的スペースに対するニーズ把握

(2) 周辺店舗

「非常に良かった・やや良かった」を回答した方の自由意見

意見の分類	UDCM・ひろばができてどう考えるか(非常に良かった・やや良かった)
子どもの遊び場として	<ul style="list-style-type: none"> ・街なかに子供達が遊べるスペースが確保でき、雰囲気が良くなった。(8) ・みんなのひろばが集う場所になっている。 ・午前中に子供連れが多かったので、良かった(2) ・子どもたちの声が聞こえるようになり明るくなった。 ・最初はあまり皆に知られてなかったし、良くないと思ったけれど、子供達が遊んでいるのを見ると、もう少し長く続けても良い。
イベントなどの活動に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・学生たちが一生懸命イベントをやっているのを見ていてすばらしい。(プール好評でしたよ！)(2) ・イベントに参加する子供たちが楽しそうにしている姿が微笑ましかった。 ・人が集まるようになったがある以上はイベントをどんどん打ち出してほしい ・知名度は低いがイベント等で人出が少しは良くなったのではないかと思う。 ・「みんなのひろば」でのイベントは良いと思うのですが、告知、アピールが伝わってこないのが残念です。
賑わい・活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの時は特に人が集まっている気がします。街の活性化につながっていると思います。(6) ・中心市街地に賑わいの場があるとはいいいことだ ・賑やかで夜も明るくなったので、治安の面でも良かったと思う。 ・子供・若者が増えて、活気がある(2) ・若い人達や子供たちの明るい姿や声が聞こえ、町が元気で明るくなったと思う。(2) ・かなり利用している人達がいることを通りがかりに見ているので、良いのではないかと思う。 ・もう少し工夫して楽しい広場に出来るように思う ・コミュニティが広がっている。ひろばを目的に来ている人がある。 ・地域の子供がいる家庭、親子さんは大変喜んで聞きます。 ・少しづつ認知されて来ているのに、2年で止めるのはもったいないし、税金のムダ使いだと思う。 ・家族連れの人が増えた感じはするが、商店街全体を巻き込むような動きがあればもっと良いのでは。
まちなかのイメージ・雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> ・街が通り(緑)ではなく、広場(空間)になっている。駐車場が自然的なものになって明るくなった。(2) ・いろいろなサークルや趣味の方たちが利用している姿をよく見かけて、活気がある。通りに面して明るいイメージ。 ・商店街のイメージアップになると思う。緑が見え、子どもたちが遊んでいる姿を見るとホッとする。年齢の幅が広く利用できる。 ・住環境として良くなったと思う。おしゃれな公園が街中にあることで街のイメージが良くなったと思います(2) ・明るくなった。(3) ・まちなかに緑の空間ができるのはとても良い。土管のアイデアは良かったと思うが、上手く利用できず残念です。 ・店として売上の、客数的にはほぼ影響が無いが、街にこういうスペースがあってマイナスになることは無いのではないか ・お昼ごはんを食べるときに使わせてもらっていました。出入りがしやすく、よかったです。
憩い	<ul style="list-style-type: none"> ・憩いの場になっていると思います。家族連れにはうれしい(2) ・ゆとりの空間ができた。まちとして、息抜きになって良い。(2) ・街に一息つける公園があるのは良いし、街のシンボルになる点(2) ・昔からの商店街のイメージを変えるのも大切だと思う。 ・お客様が行ってみたいと思う商店街にするには一息する場所があるほうが良いと思う ・アーバンデザインセンターは何をしているのか良く分からない。
商売	<ul style="list-style-type: none"> ・人通り・客層・集客が増えた。店を知ってもらえるきっかけになりそう。(3) ・店舗として催物をしたいとき、街中であって、皆様に知らせるのに非常に便利だと思う ・ひろば利用者により人通りは多くなったが、その人が周りの店に対して何かあるとなると、それは無い。 ・公園で休む等の目的のみで終わっている感じがする。 ・周りの店に影響は少なく、プラスイメージがもてない。たまり場のイメージが強い。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗よりは全然マン。何かやれることをやってみるという取組は良い。(3) ・今までには無い取り組みが良いと思いました。 ・利用する方にとっては良いと思う ・あまり周知されていない。知っている人のみ活用できている。

※(数値)は同類の意見数

「非常に悪かった・やや悪かった」を回答した方の自由意見

意見の分類	UDCM・ひろばができてどう考えるか(非常に悪かった・やや悪かった)
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・近くのパーキングが減った ・駐車場が必要(3) ・この地域には駐車場の方が必要。お客様が困っている ・個人的な意見とし、まずあそこの駐車場が無くなって不便になった。
環境悪化	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街にひろばの土が入ってくるので非常に迷惑です。 ・あの「ひろば」も夜は入れないし、昼間この辺りで働いている方には意味がない。 ・ハッキリ言って向かいのクレープ屋が恩恵を受けただけだ。 ・クレープ屋さんのための広場みたいです。以前、駐車場の時は車がとめられなかったが、2~3台とまっている時もある。 ・ひどい時はとめて車中でクレープを食べてる。 ・センターの中で高校生が勉強しているのを時々見かけるが、やめさせてほしい。
活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・活気変わらない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市の金捨てである。 ・無駄だと思う ・誰が店長で誰がやらせているか分からない。

※(数値)は同類の意見数

資料/周辺店舗アンケート調査 (H27.3、H27.9 実施)

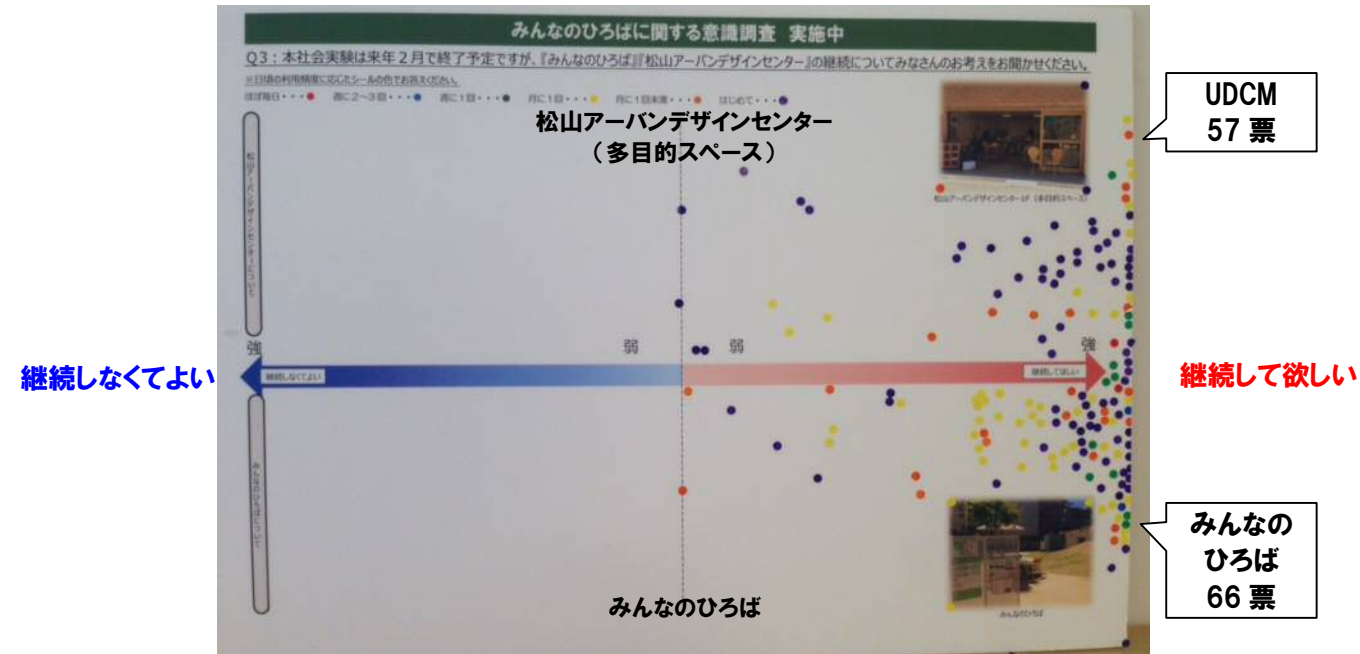
資料/周辺店舗アンケート調査 (H27.3、H27.9 実施)

3. ひろば・多目的スペースに対するニーズ把握

3.4 継続意向

(1) ひろば・施設利用者

・土曜夜市のひろば利用者にインタビュー調査を実施した結果、非常に多くの利用者から継続意向があった。特に夜市ではじめて利用する方も多い中、利用頻度に関わらず継続意向が高い。



シールの色は利用頻度(ほぼ毎日: ● 週に2~3回: ● 週に1回: ● 月に1回: ● 月に1回未満: ● はじめて: ●)

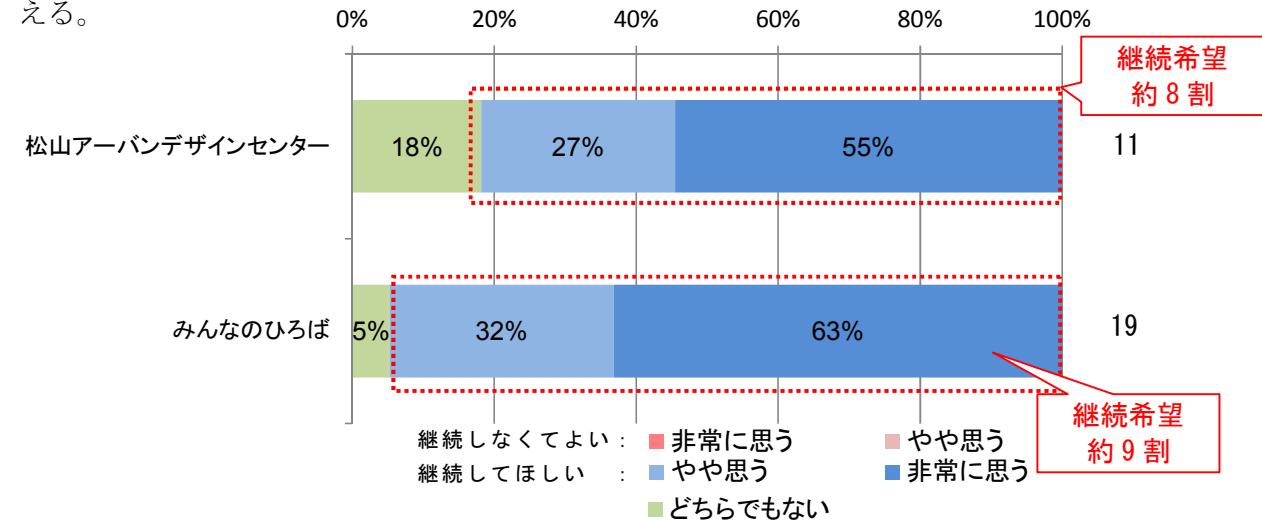
NO	インタビューコメント
1	椅子があり、無料で休憩できてよい。(7)
2	休憩できる施設があって、ゆっくり、のんびりできるのでこれからも継続して欲しい(4)
3	便利(トイレ、涼しい、wi-fiがあるので便利。)(3)
4	子供の為にもこういスペースがあると、買い物途中でもちょっと休憩もできる。情報も知れるので必要だと思います。
5	色んな人が関わりあえるところが必要だと思うので、継続して欲しい。
6	子供達が安全に休憩できる場所が街中に欲しい
7	寄りやすい雰囲気。
8	食べる時間とか、休憩場所とかが減ったら困る。
9	夜市で来て知った。
10	ここが家の近くで、こんなところなかった。ありがたい。
11	友達とゆっくりしゃべりながら、食べれるところがほしい。
12	子供が凄く土管を気に入っているから、継続してほしいです。
13	すごく良い場所にあるし、便利なんで今後も是非、市のお金なりで今後も続けてほしいです。
14	遊びたいから、好きです。
15	石手川公園までは遠くて暑いから、ここなら遊びに来られる。
16	(高校生だけの利用ではなく)税金を払う人が利用できるようにしてほしい。老若男女が使えるところにして欲しい。(2)
17	もっと施設をアピールして欲しい。

※(数値)は同類の意見数

資料/利用者インタビュー調査(7/25(土),8/1(土)実施)

(2) 来街者

・UDCM・みんなのひろば共に利用経験者の8割以上が「継続」意向を示している。
 ・特にみんなのひろばについては、まちなかで子どもたちが遊ぶ場所として非常に好評であることが伺える。



	自由意見	意向
1	・オープンな雰囲気を利用しやすいので、今後も利用したい。[20代女性]	継続
2	・子供たちが遊べる場所が街中にあるのはよいことだと思う。[20代女性]	継続
3	・知り合いも利用していたので続けるべき。(アーバン) ・心配りのある場所がないと、都市として恥ずかしい。(みんなの広場)[60代女性]	継続
4	・子供を公園で遊ばせながら様子を見つつ休める所だから。 ・まちなかで子供を連れて長時間快適に過ごせる場所はここしかないから。[20代女性]	継続
5	・子供が楽しく遊べるので。[30代女性]	継続
6	・ゆっくり遊べる。[10代女性]	継続
7	・楽しいから。[10代女性]	継続
8	・暇なときにあそこに行ってみようと思うから。子供がいる時は楽しそうにしているから。[10代女性]	継続
9	・ゆっくりできる場所が欲しいので、あると便利。[10代女性]	継続
10	・子供を遊ばせる場所が少ないので、子供とゆっくりできるのがいい。[30代女性]	継続
11	・休む場所があまりないから。[10代女性]	継続
12	・子供の遊ぶ場所が少ないので。[30代男性]	継続
13	・無料で使える所があった方が嬉しいので継続してほしい。[40代女性]	継続
14	・憩いの場が少なくなった今昔、このような場が増えていけば商店街の活気が出てくると思うので。[60代男性]	継続
15	・みんなの広場は、歩いて疲れていて座って休めた。[70代男性]	継続
16	・利用者が多いから。[30代男性]	継続
17	・なんか落ち着ける。子供とかが遊べるから。[10代女性]	継続
18	・たまに使うのであったら便利。[20代女性]	継続
19	・町の中心にあるから良いと思う。[40代男性]	継続
20	・何もなさそうで中に入らなかった。今利用してきたが狭い! ・今日は特別利用している人が多かったのか、とにかく狭い!けどあった方がいい。[30代女性]	継続
21	・休む場所としてしか使わないから。[60代男性]	どちらでもない
22	・あっても変わらない様に思うので、どちらでもない。[50代男性]	継続
23	・良くわからない。街に来てまで利用したいとは思わない。愛想がないから行かない。幅広く利用していない。関係者が多すぎる。[20代男性]	継続

資料/街頭アンケート調査(H27.8実施)

3. ひろば・多目的スペースに対するニーズ把握

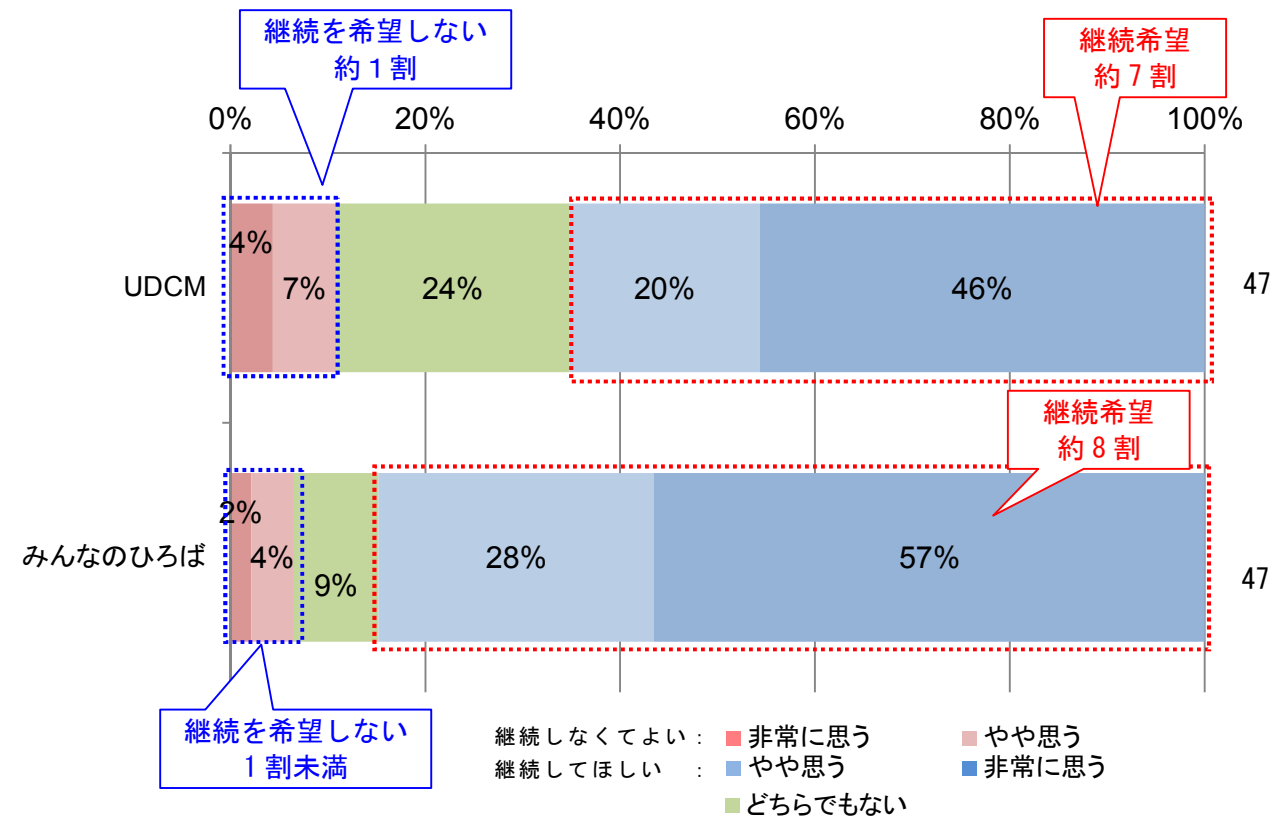
(3) 周辺住民

①UDCMについて

・継続を希望しない意見が約1割、継続を希望する意見が約7割。

②みんなのひろばについて

・継続を希望しない意見が1割未満、継続を希望する意見が約8割。



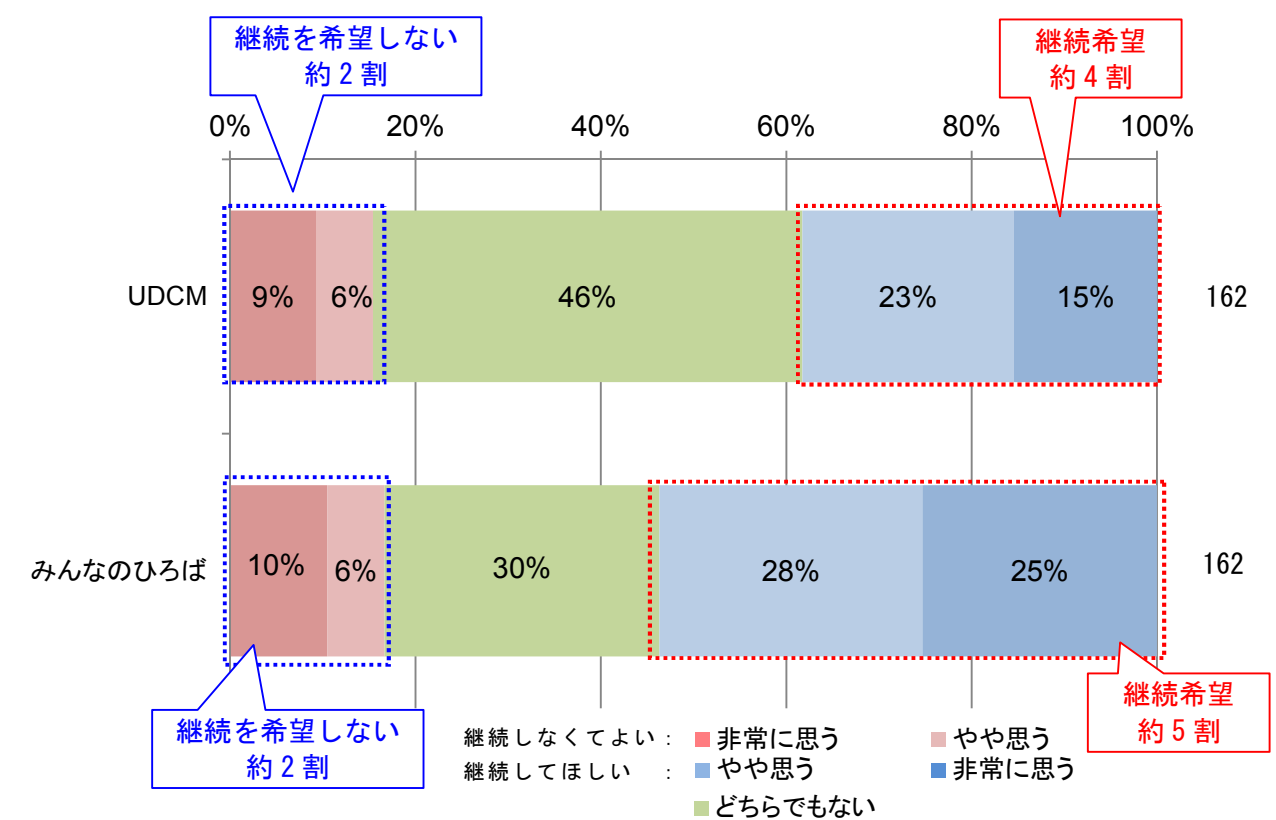
(4) 周辺店舗

①UDCMについて

・継続を希望しない意見が約2割、継続を希望する意見が約4割。

②みんなのひろばについて

・継続を希望しない意見が約2割、継続を希望する意見が約5割。



3. ひろば・多目的スペースに対するニーズ把握

(3) 周辺住民

1) UDCM

①「継続してほしい」回答者の自由意見

分類	自由意見
主旨・活動に対して好感	・子供が行きたがるところに親が行き、その結果、お気に入りのお店が出来たり新しい発見があり、もっと街中に人が集まるかもしれないから。
	・メインの商店街なんだし、夜市以外にももっと活気が欲しい。
	・色々なイベントが開催され、とても有効にセンターが利用されているようなので、継続された方がいいと思う。
	・色々な情報をもらうから。公園の事務所もすばらしい。
	・「まち」を良くする努力は必要。その取り組みがあるというのは心強い。
	・実用性があれば継続してもよい。
	・市民が自由に集まる拠点になるから。
	・来年2月で終了予定なんですか？みんなの税金で作ってるんですね？
	・考えられない。作ったからには続けるべき。
	・街づくりなどの効果の結果はにわかには出ないものではない。
賑わい・活性化	・気長に継続することで市民意識を啓発する必要があると思うから。
	・皆で街を良くしていこうという意識は大切だと思います。
	・目的とか内容をもっとアピールしてください
	・雨の日にお弁当を食べている方や読書をしている方がいるので、こういう場所も必要かと思う。
	・子供達(学生)が勉強している姿を見るとこういう形も良いと思う。
	・自分は参加していないが、集まって活動している様子を見て全体に広がっていけばよいと思う
	・人が集まる事は活気があって良い
	・高校生が楽しそう
	・安心して休憩できる場所があった方が良い(3)
	・アーバンデザインセンターは利用したことがないが、絵本などあるみたいなので、今後利用していきたいと思う。
憩い・休憩	・これから子どもが大きくなるので、利用していきたい。
	・トイレがキレイだから。雑誌や絵本もあって立ち寄りやすい。
	・街中に公園、広場があるのは良いことです
	・まちづくり専門家の常駐は必要ないと思うが、アーバンデザインセンターは憩いの場として継続してほしい。
	・街なかにはゆっくりできるスペースをもっと増やすべき。
	・是非、継続して欲しい・無くすることは簡単だが、新しく作ることは難しい
	・雑誌や絵本もあり、トイレも清潔にされていて、親子で気軽に休憩しやすい。
	・絵本が置いてあるので、子供も楽しめる
	・これが無いと新しいことが始まらず、銀天街周辺は増々沈んでいきそうで不安です。
	・若い女性が楽しく会話している姿が好印象です。
まちなかのイメージ・印象への好感	・みんなのひろば利用者にとっても、管理者がいるという安心感となる
	・近所で利用したい場所

※(数値)は同類の意見数

資料/周辺住民アンケート調査(H27.9実施)

②「継続しなくてよい」回答者の自由意見

分類	自由意見
その他	・利用方法等が不案内
	・利用する人は偏ると思う。
	・私のように利用しない人は必要性を感じない、利用される人にとっては今後も利用を継続するなど、二極化する。
	・個人的には、あっても無くてもどちらでもよい。
・コスバが不明なので、判断ができない。個人的には不要	

資料/周辺住民アンケート調査(H27.9実施)

(3) 周辺住民

2) みんなのひろば

①「継続してほしい」回答者の自由意見

分類	自由意見
主旨・活動に対して好感	・街の価値の一つにパブリックな公園がどれだけあるかという指標もあります。第2、第3の広場づくりもご検討下さい。
	・夏のプールは斬新でステキなアイデアだったと思う。
	・いつもより街中に滞在する時間が増えた。
	・子供も遠くへ行くより、街中で遊びたかった。他県のお友達もステキなアイデアだとびっくりした。
遊び場として必要	・来年2月で終了予定なんですか？みんなの税金で作ってるんですね？
	・考えられない。作ったからには続けるべき。
	・市民が自由に集まる拠点になるから。
	・街中にひろば・公園・子供が遊べる空間が無いので、あると助かる。子どもが喜んでいる(10)
	・子供の少ない地域ですから、子供達のにぎやかな声で街が明るくなった。(3)
	・子供達が嬉々としている姿が見えて、自然に笑顔になります。
	・犬の散歩で行くと、噴水を喜んでいる。
	・危険な遊具がなく、自由に遊べる場として必要だと思う
	・家の近くに外で遊べる場所が出来て、子供がとても喜んでいる。楽しいイベントが開催されている。
	・孫とのひとときに非常に良い・プールイベントなどでも盛り上がったように、笑顔あふれる空間に出来るから
憩い・休憩	・乳幼児が親子で遊ぶ場所が徒歩圏内に少ないので継続してほしい
	・子供が家族そろって遊戯を楽しんでいるのを見ることあるが、街中に数少ない安全な広場だから。
	・また、遊びにつれて行きたい
	・また、遊びにつれて行きたい
まちなかのイメージ・印象への好感	・まちなかで安心して休憩できる憩いの場所として良いのではないかと(2)
	・緑地にしてくつろげる所だと嬉しいです
	・明るくキレイな広場です。通りがかるだけでも癒される。ホットする(3)
	・街なかにはゆっくりできるスペースをもっと増やすべき。
まちなかのイメージ・印象への好感	・是非、継続して欲しい・無くすることは簡単だが、新しく作ることは難しい
	・市街地の魅力が増えるので継続すべきだと思います。
	・「まち」の雰囲気明るくなる
	・実用性があれば継続してもよいと思います。
・以前よりは家族連れなどが集まってきていると思う	

※(数値)は同類の意見数

資料/周辺住民アンケート調査(H27.9実施)

②「継続しなくてよい」回答者の自由意見

分類	自由意見
その他	・芝生の管理ができていない
	・使わないので。

資料/周辺住民アンケート調査(H27.9実施)

3. ひろば・多目的スペースに対するニーズ把握

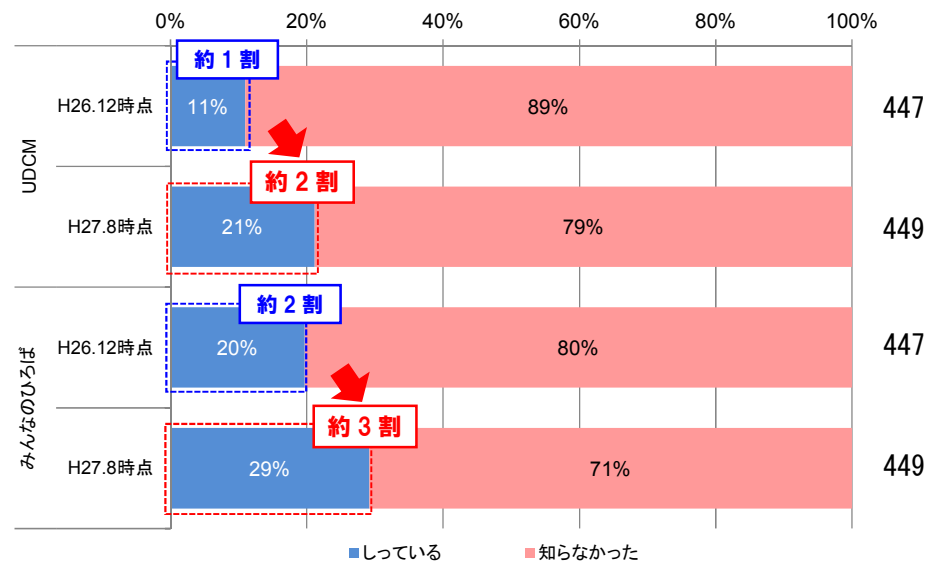
(4) 周辺店舗		(4) 周辺店舗		
1) UDCM		2) みんなのひろば		
①「継続してほしい」回答者の自由意見		①「継続してほしい」回答者の自由意見		
分類	自由意見	分類	自由意見	
主旨・活動に対して好感	・新しい取り組みは継続しないと効果がない。短期間では、周囲に知られる事もなく終了になると思う(5)	主旨・活動に対して好感	・色々なイベントを学生たちが一生懸命やっているのを見ていて素晴らしい。	
	・人が集まり、町づくりについて話す場所、機会は大切だと思う。		・期間が短すぎて、認知されないまま終わってしまうのは惜しい。継続は「力」と思う。結果を出すのはまだ早いし(5)	
	・多目的に色々な人が、無料で利用出来る場としてあった方がよい。		・経済的な効果が少なくても継続してほしい。	
	・都市開発、活性化、街のデザインにおいて、現場の拠点は必要。市の課のみでは声が届かないような気がする。		・街なかに開放的空間・緑があることはいいと思います。買い物以外でも楽しめる(4)	
・市が中心になって、経費もあまりかからないのだったら続けてもよい。	・ハコモロじゃない公共の場は好感もてる	子どもの遊び場	・私の納付した市民税からは出さず、企業からの寄付で賄うこと。	
・賑わっている様子ですし、何か試みようとした時に箱は必要だと思います。	・お世話する人は大変ですけど、子供達のために続けて下さい(大人の息抜きの為にも)		・イベントや保育園児が外遊びをしているのを見かけるので、公園的な感じで残すのは良いと思う。	
・販売と関係ない公共的なスペースは必要だと思う。	・休地にしているのであれば、自由に利用させてもらえばよいと思う。		・子どもが遊ぶ姿で和みます。地域も豊かになると思うので、大切にしていきたいと思います。	
・アートなイベントが多く良い。スマホばかり見ている若者に協調性も出来るし、人の輪が出来て良い。	・街中に公園なんて思いつかなかった。色々な行事に使って頂けたらと思います		・てくるんと違って、土があって遊んだり座ったりできる	
・子供から老人まで利用でき地域向上と発展のためあったら良いと思う。	・街なかで子供が安全に遊び、楽しそうにしているのが良い。(11)	賑わい・活性化	・若者が色々な事に取り組んで人を集めてくれているのは、地域の活性化になるので、もう少し頑張ってもらいたい。(3)	
・色々なイベントをみんなで一生懸命やってくれている。	・子供のイベントがあると家族連れが街中に増えると思うので		・無料で使用できるのは地域の活性化に繋がるので、良いが、もう少しアピールしてもよい。	
・人も増加したし、学生たちが一生懸命やっているのを見ていてすばらしい。	・イベントや保育園児が外遊びをしているのを見かけるので、公園的な感じで残すのは良いと思う。		・子供やお年寄りが喜ぶ仕掛けを作って欲しい。	
・イベントで、人通りが増えるから。(2)	・子供が遊ぶ姿で和みます。地域も豊かになると思うので、大切にしていきたいと思います。		・人が集まって楽しそうですし、通りを歩いていて楽しい場所が出来たなというも思っていた。	
・商店街に楽しめる所があるのは良い。	・イベントなどで活用されているのであれば、今後も継続していくべきである。(2)	憩い・休憩	・買物した後の立寄りの場所、休憩場所、憩いの場所知らない人が立ち寄って交流の場がよい。(2)	
・地域の活性化に繋がるので、無料で使用できるのは良いと思うが、もう少しアピールしてもよい。(2)	・商店街離れ多い中で、少しでも若い人達や専門家に考えてもらって新しい感覚で賑わいを取り戻せたらと思う。		・街の家族の憩いの場としては最適	
・知名度が良くなればもっと人出が望めそう。イベント等でもっと利用してみたい。(2)	・L字の再開発にも十分な参考になると思います。		・憩いの空間は街中には必要だと思います	
・イベントなどで活用されているのであれば、今後も継続していくべきである。(2)	・人が増えて活性化に役立っていると思う。(2)夜市など、ゴミ、騒音を心配していたが思っていたほどではなかった。		・みんなのひろばでごはんを食べている人がいたから。そのようなスペースが街中に少ないから	
・商店街離れ多い中で、少しでも若い人達や専門家に考えてもらって新しい感覚で賑わいを取り戻せたらと思う。	・人が増えて活性化に役立っていると思う。(2)夜市など、ゴミ、騒音を心配していたが思っていたほどではなかった。	まちなかのイメージ・印象への好感	・街のシンボルとなるし、休憩の場になる。ただ公園内の設備は改善して欲しい部分がある	
・L字の再開発にも十分な参考になると思います。	・人が増えて活性化に役立っていると思う。(2)夜市など、ゴミ、騒音を心配していたが思っていたほどではなかった。		・街なかに公園・空間があるのはイメージ・景観がよい。(4)	
・人が増えて活性化に役立っていると思う。(2)夜市など、ゴミ、騒音を心配していたが思っていたほどではなかった。	・人が増えて活性化に役立っていると思う。(2)夜市など、ゴミ、騒音を心配していたが思っていたほどではなかった。		・ひろばでイベントや遊んでいる姿を見せるのは、街の雰囲気や良さを良くすると思うので、続けて欲しい(4)	
・人が増えて活性化に役立っていると思う。(2)夜市など、ゴミ、騒音を心配していたが思っていたほどではなかった。	・人が増えて活性化に役立っていると思う。(2)夜市など、ゴミ、騒音を心配していたが思っていたほどではなかった。		・街なかの空間は、都市の余裕を感じさせてくれる。子供たちが遊ぶ姿、笑顔は何物にも換え難い。	
・憩い・休憩	・銀天街・大街道にこのような空間がないから	まちなかのイメージ・印象への好感	・空きスペースになって活用されないのはもったいないと思う。空地、空き店舗よりマシ(2)	
・自店のスタッフがよく休憩に利用しているので、継続していただきたい。	・自店のスタッフがよく休憩に利用しているので、継続していただきたい。		・宣伝力がないのか、そんなに集まっていないように見えますが、街中に緑のミニ公園があるのは心が和みます。	
・少し休むのに便利な為、また飲食できるので役立っています。	・自店のスタッフがよく休憩に利用しているので、継続していただきたい。		・街中のオアシスとしての機能がある	
・街中のオアシスとしての機能がある	・自店のスタッフがよく休憩に利用しているので、継続していただきたい。		・子供達が伸び伸び遊ぶ姿は、商店街のイメージアップは集客にも繋がると思う為。	
・お弁当を食べる場所がなくなるので困ります。	・お弁当を食べる場所がなくなるので困ります。	※(数値)は同類の意見数	資料/周辺住民アンケート調査(H27.9実施)	
・ホットと息する場所があると思うから	・ホットと息する場所があると思うから		※(数値)は同類の意見数	資料/周辺住民アンケート調査(H27.9実施)
・交流の場として継続してほしい	・交流の場として継続してほしい		②「継続しなくてよい」回答者の自由意見	
・まちなかのイメージ・印象への好感	・住環境として良くなったと思う		分類	自由意見
・空屋になっているより良いから(2)	・空屋になっているより良いから(2)	駐車場への要望	・駐車場に戻してほしいとお客様の声が多いため。(7)	
②「継続しなくてよい」回答者の自由意見		主旨・活動に対して	・市の金捨てである。	
分類	自由意見		・柵がしてあり、入れないと何度か言われたため	
駐車場への要望	・駐車場に戻してほしいとお客様の声が多いため。(7)		・何事も無料ではないと思うので、実験を続けるのであれば、効果測定をして公表してほしい。	
主旨・活動に対して	・趣旨がよく分からない		・効果が出ているなら続けるべきだと思う。実施したことで満足し、終わりにしてほしくない。	
	・何事も無料ではないと思うので、実験を続けるのであれば、効果測定をして公表してほしい。	・必要性がない(3)		
	・効果が出ているなら続けるべきだと思う。実施したことで満足し、終わりにしてほしくない。	・市の金捨てである。		
	・必要性がない(3)	・やめる予定で始めないでほしい。リスクを背負ってない		
その他	・あまり興味もなく今後利用する事もないので(3)	その他	・誰のための場所なのか分からない	
	・ゴミ等は気を付ければ改善される事なので、そこさえクリアできれば継続もアリかとは思いますが。		・1つの店が非常にいいだけで、何のためなのか全くわかりません。	
	・当店は夜の営業なのであまり関係ないし。		・高い税金をこんな事に使うのだったら、もっと市民のためになることを考えてほしいと思う。	
	・無駄だと思う。友好的に利用されていないと思う。		・あまり興味もなく今後利用する事もないので	
・定着していないため、イベント等を行なえば良いと思う	・周知も足らず、あまり継続の意味を感じない	・ダサイ。ビジョンがない	・ゴミ等は気を付ければ改善される事なので、そこさえクリアできれば継続もアリかとは思いますが。当店は夜の営業なのであまり関係ないし。	
・周知も足らず、あまり継続の意味を感じない	・周知も足らず、あまり継続の意味を感じない	・場所が分かりづらい。休憩するにはベンチが少ない。	・利用者が少なく感じる。	
資料/周辺店舗アンケート調査(H27.9実施)		資料/周辺店舗アンケート調査(H27.9実施)		

4. 社会実験の効果検証（中間報告）

4.1 認知度

(1) 来街者

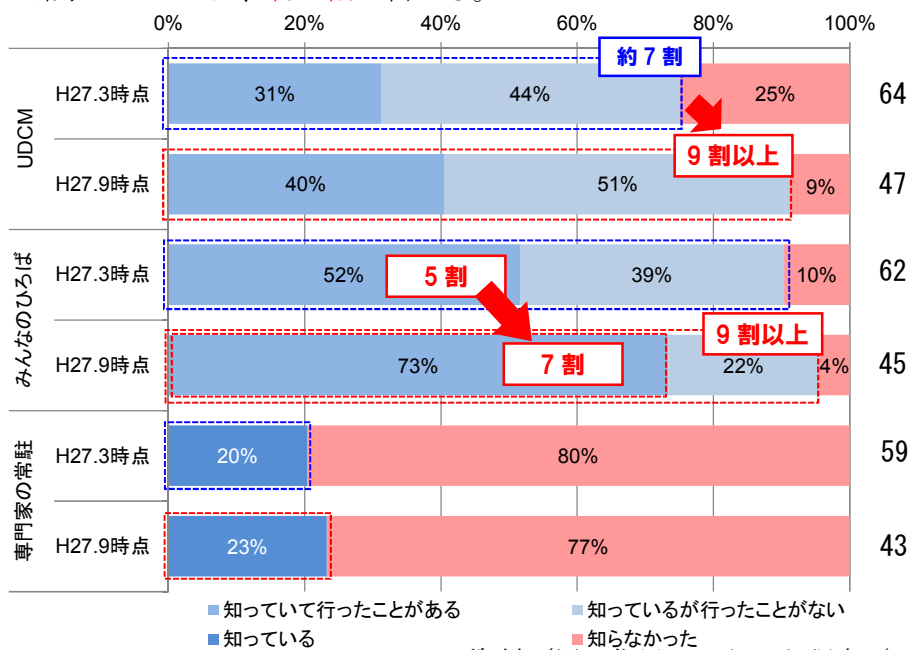
- ・オープン2ヵ月後(H26.12)に比べ、UDCM・みんなのひろばの認知度は共に増加。
- ・特に、最寄りの銀天街北口付近では、来街者の約3割がUDCM・ひろばを知っている。



資料/街頭アンケート調査 (H26.12、H27.8 実施)

(2) 周辺住民

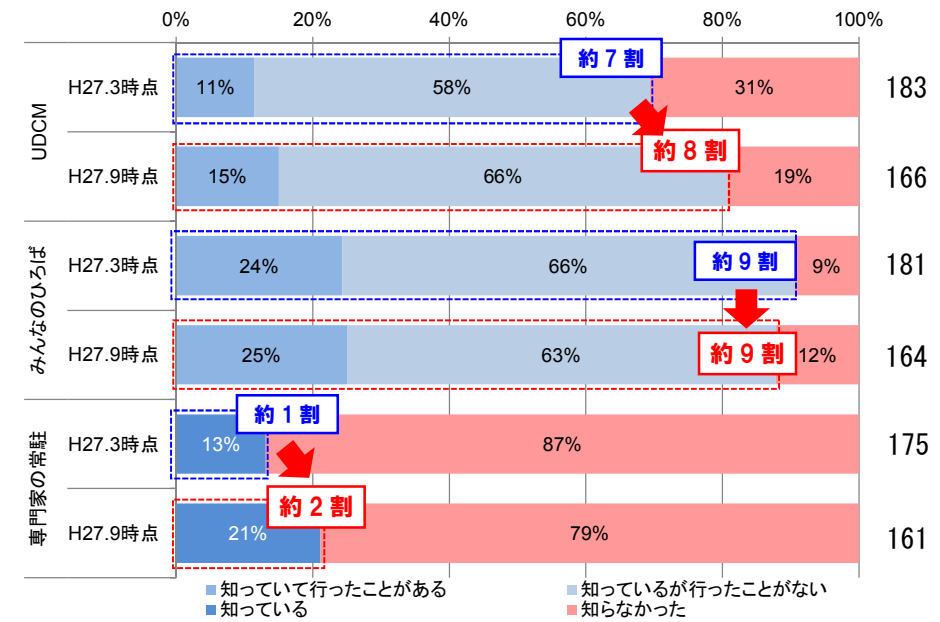
- ・周辺住民に対する認知度は前回から非常に高く、現時点 (H27.9) で、9割以上の方が「知っている」。
- ・特にみんなのひろばは「認知」だけでなく、実際に来訪している方の割合が増加。
- ・一方で専門家の常駐については、約2割に留まる。



資料/周辺住民アンケート調査 (H27.3、H27.9 実施)

(3) 周辺店舗

- ・UDCMは、約7割から約8割に向上。
- ・みんなのひろばは、前回に引き続き、約9割の方が「知っている」を回答。
- ・専門家の常駐については、約1割から約2割に向上。

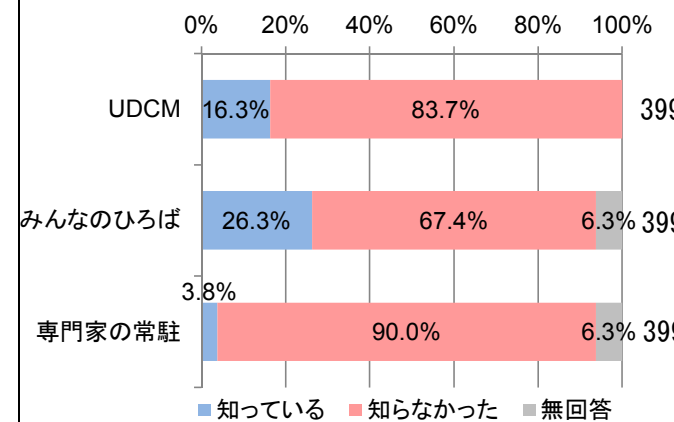


資料/周辺店舗アンケート調査 (H27.3、H27.9 実施)

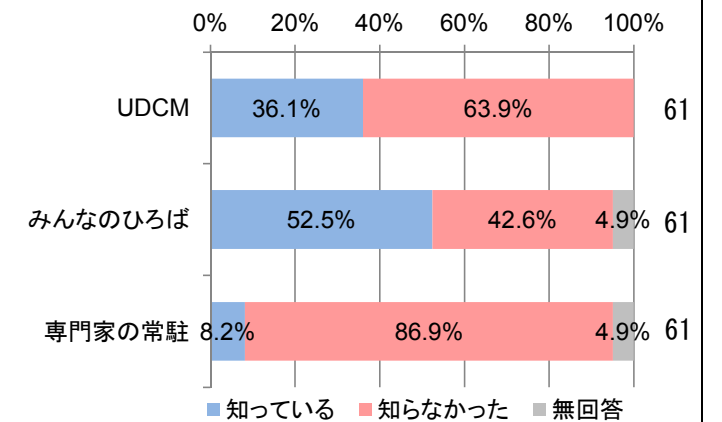
(4) 企業（松山商工会加盟）

- ・松山市全体の回答企業の約2割がUDCMを知っており、約3割がみんなのひろばを知っている。
- ・都心地区に立地する企業でみると、約4割がUDCMを知っており、約5割がみんなのひろばを認知。

①全回答企業(松山市全体)



②うち、都心地区所在企業



資料/企業アンケート調査 (H27.3 実施)

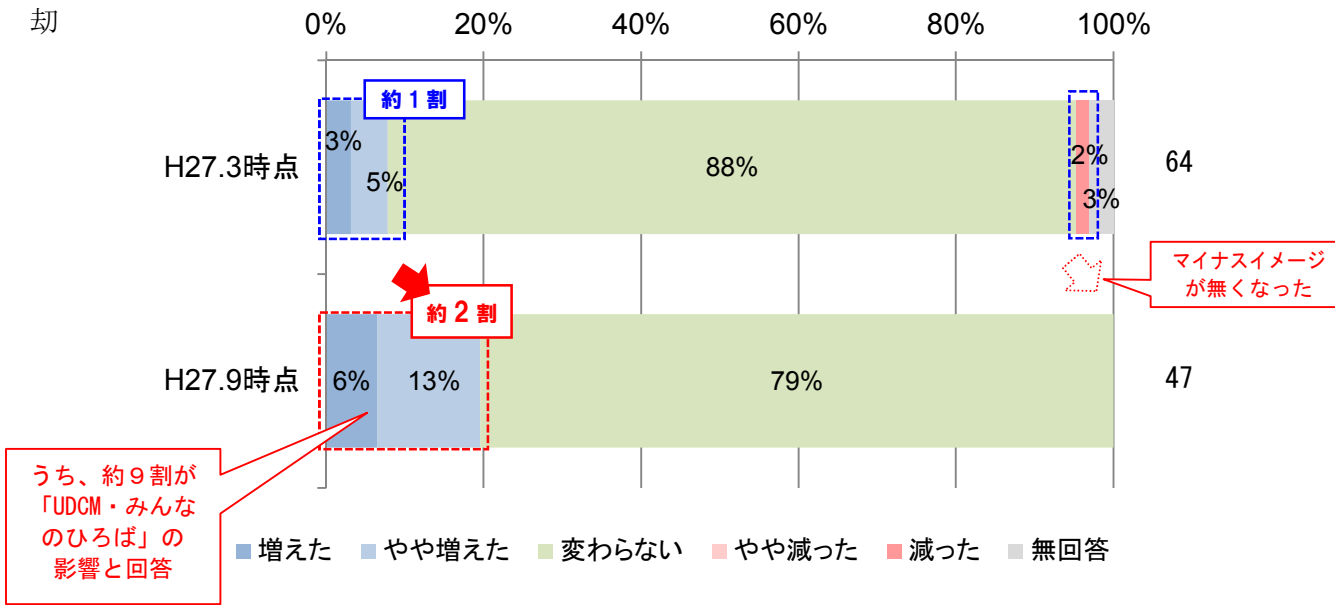
(※H27.9 は未実施)

4. 社会実験の効果検証（中間報告）

4.2 まちなか住環境への影響

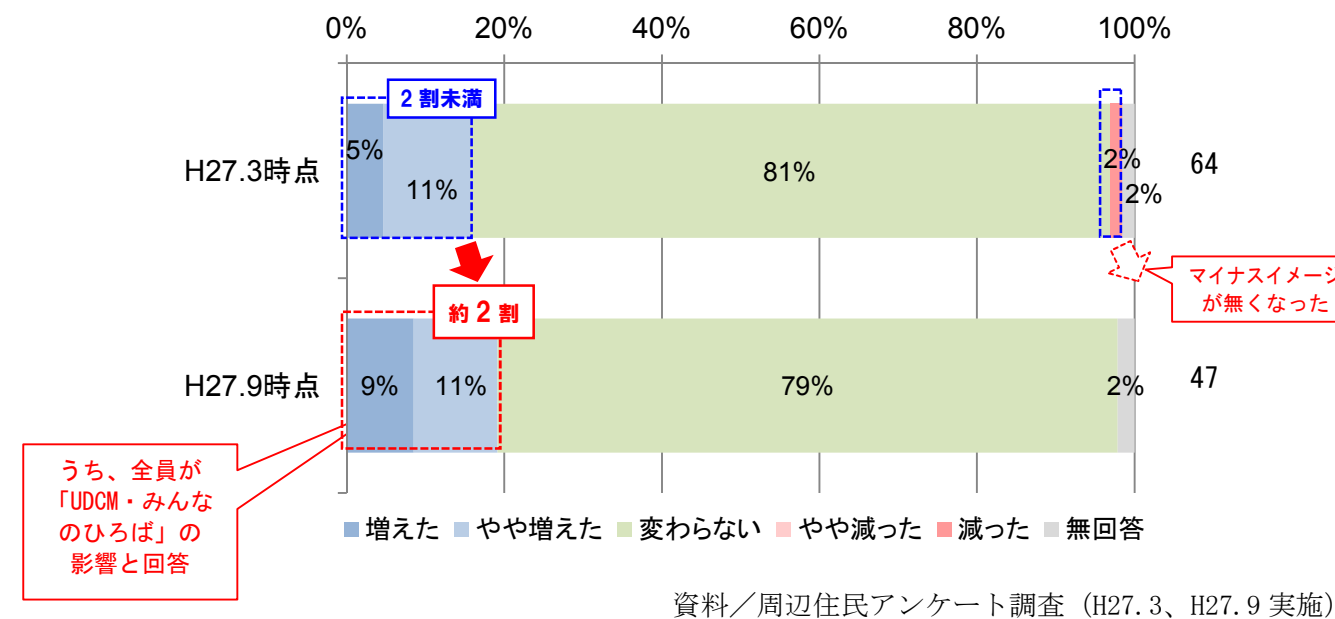
(1) まちなか周辺への外出頻度の変化

- ・「増えた・やや増えた」が約1割 → 約2割に増加。
- ・「減った・やや減った」のマイナスイメージが無くなっている。
- ・しかしながら、周辺住民の外出頻度に大きく影響を及ぼすには、至っていない。



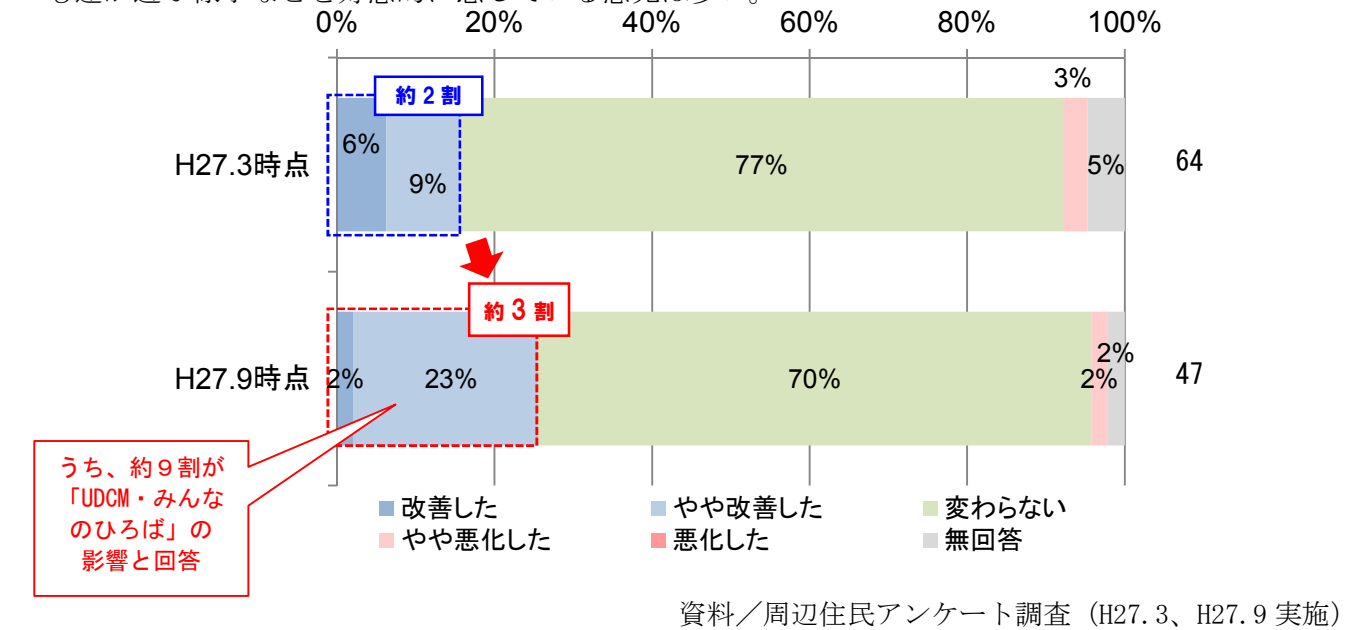
(2) まちなかの滞在時間

- ・「増えた・やや増えた」はほぼ変化なし。
- ・「減った・やや減った」のマイナスイメージが無くなっている。
- ・しかしながら、周辺住民の外出時の滞在時間に直接影響を及ぼすには、至っていない。



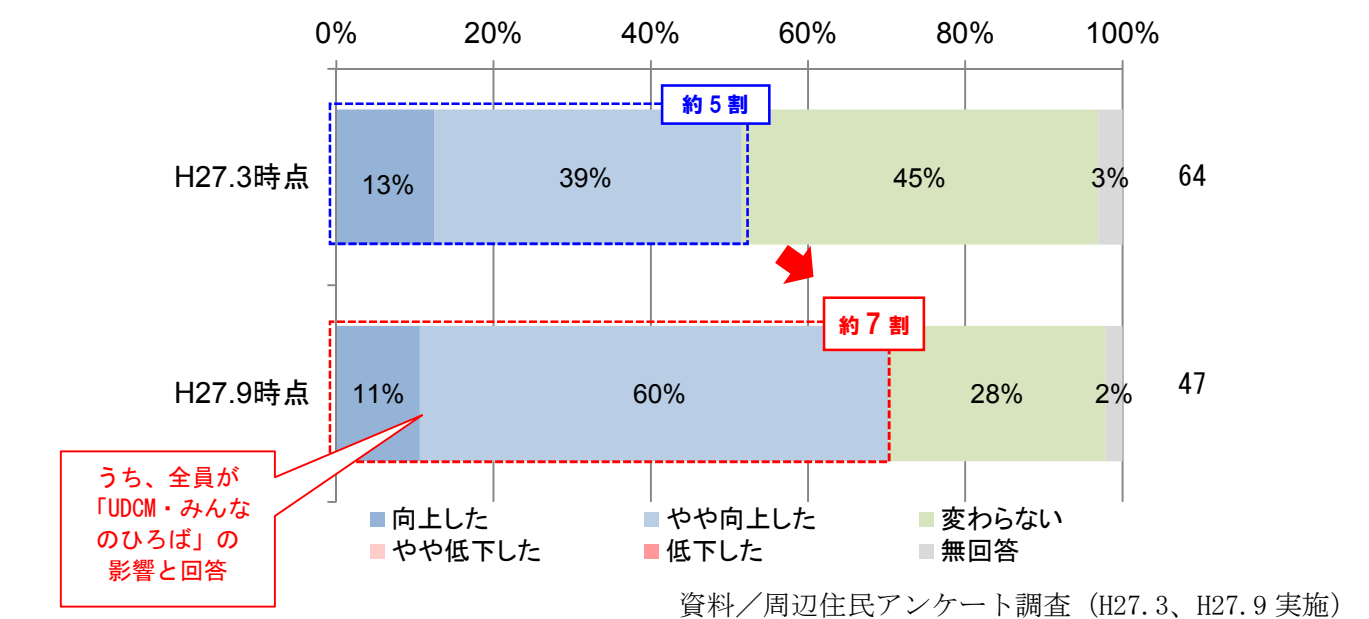
(3) まちなかの治安

- ・「改善した・やや改善した」が約2割 → 約3割。
- ・「減った・やや減った」のマイナスイメージが無くなっている。
- ・しかしながら、まちなかの治安改善に大きく影響を及ぼすには、至っていないものの、ひろばで子ども達が遊ぶ様子などを好意的に感じている意見は多い。



(4) まちなか居住の魅力

- ・「向上・やや向上」が約5割 → 約7割に増加
- ・まちなかに賑わい・憩いの空間があることに対する評価は高い。

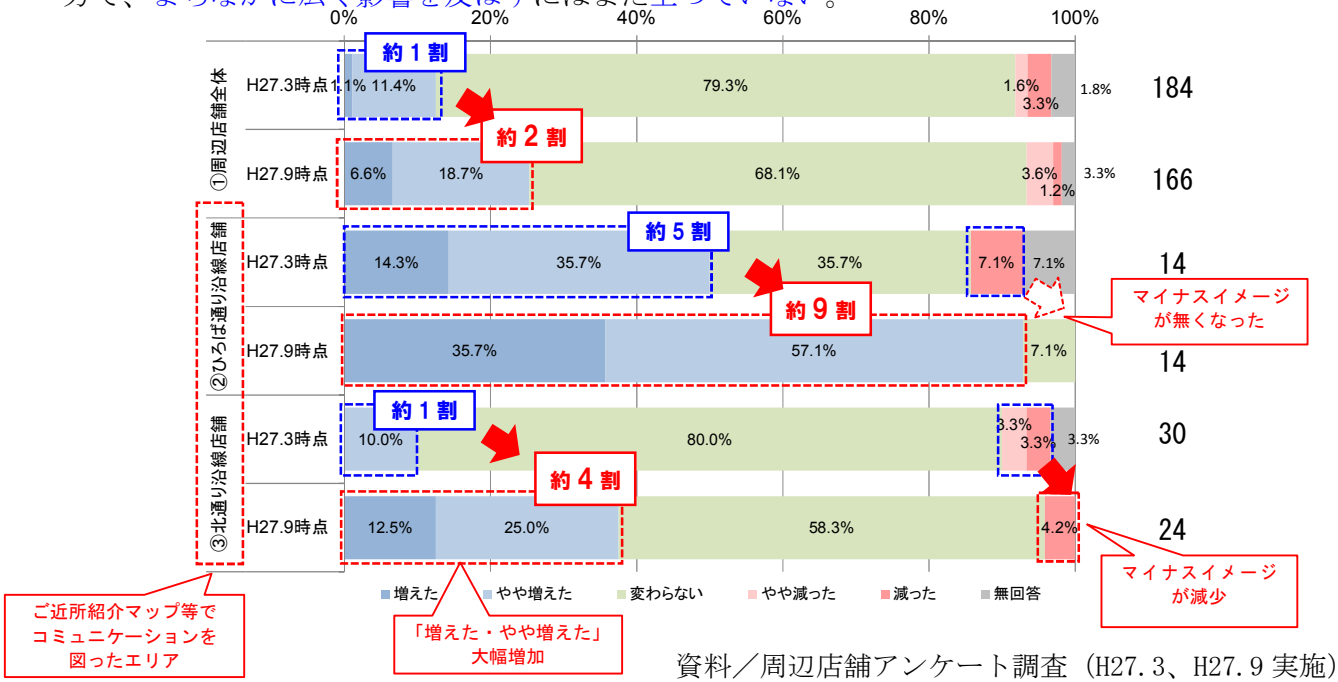


4. 社会実験の効果検証（中間報告）

4.3 まちなかでの営業活動への影響

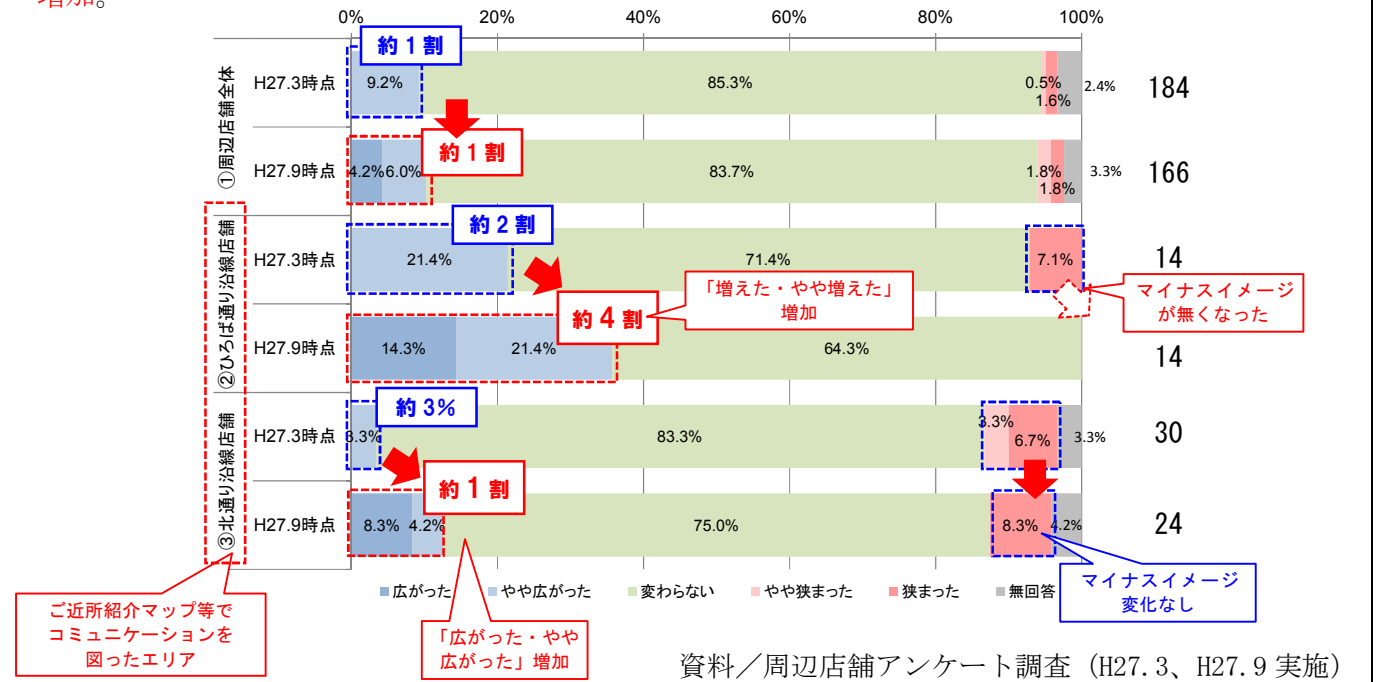
(1) 人通りの変化

- ・オープン以降、時間の経過と共に、「人通りの増加」が顕在化。
- ・スプリングフェスタや土曜夜市などでは、多くの利用者でひろば・UDCMが賑わったこともあり、特に近隣店舗では、人通りの増加が顕著。
- ・一方で、まちなかに広く影響を及ぼすにはまだ至っていない。



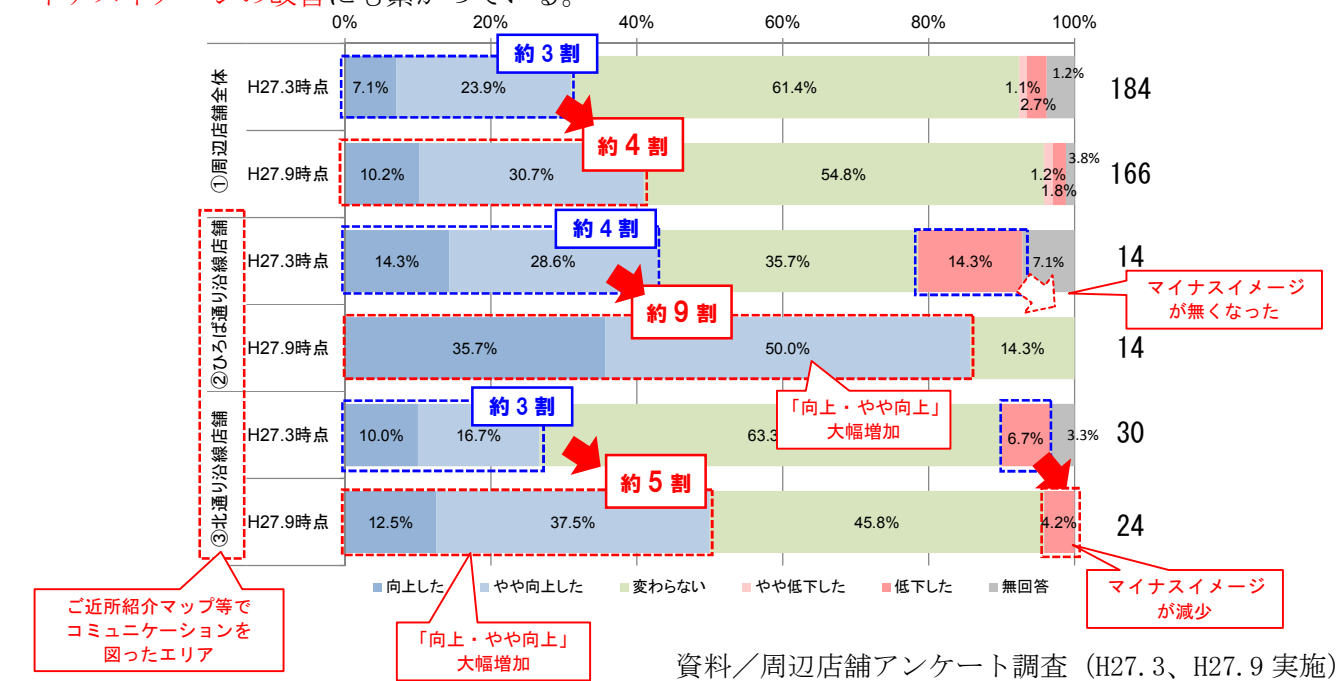
(3) 客層の変化

- ・プラスのイメージが若干増加しているものの、客層は「変わらない」とする意見が6割～8割となっており、まちなかに広く影響を及ぼすにはまだ至っていない。
- ・一方でひろば・UDCM近隣店舗においては、客層が「広がった・やや広がった」が3月時点に比べ増加。



(2) 地域のイメージ変化

- ・オープン以降、時間の経過と共に、「地域イメージの向上」を実感。
- ・特に、UDCM近隣では、行事や周辺マップ作成などのコミュニケーション活動を通じて、当初のマイナスイメージの改善にも繋がっている。



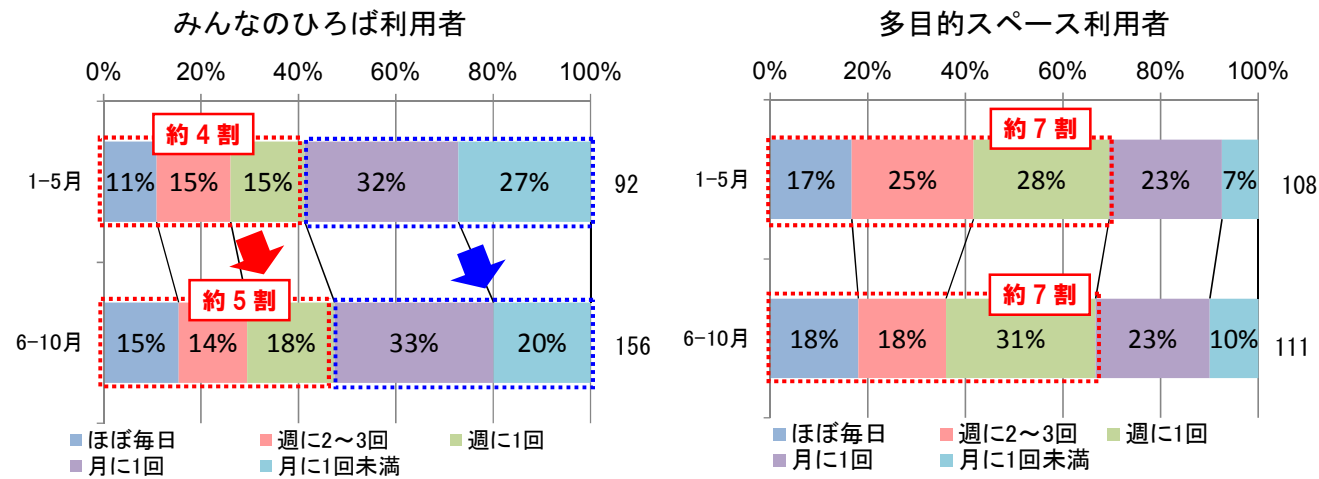
(調査の対象)

4. 社会実験の効果検証（中間報告）

4.4 まちなかへの来街頻度・滞在時間への影響

(1) 来街頻度

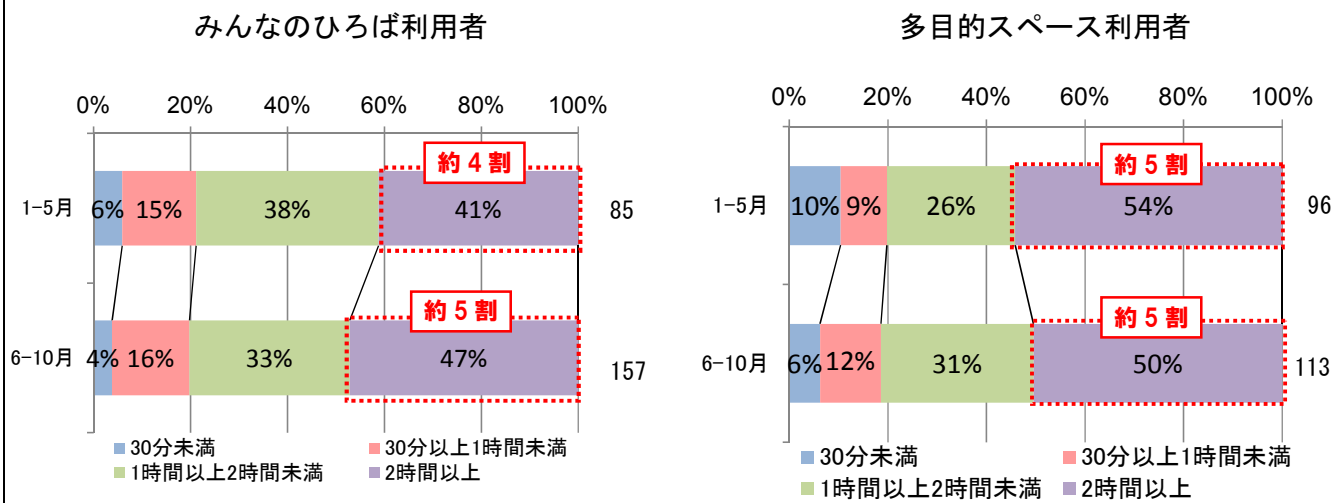
- みんなのひろば利用者は、「週に1回以上」の頻度で訪れるからの割合が増加。また「月に1回未満」低頻度の割合が減少。
- 多目的スペース利用者は、時間経過による大きな変化はないが、「週に1回以上」の頻度で訪れる方が約7割存在し、高頻度で来街されている方が多目的スペースを利用している。



資料/ひろば利用者・多目的スペース利用者アンケート調査

(2) 滞在時間

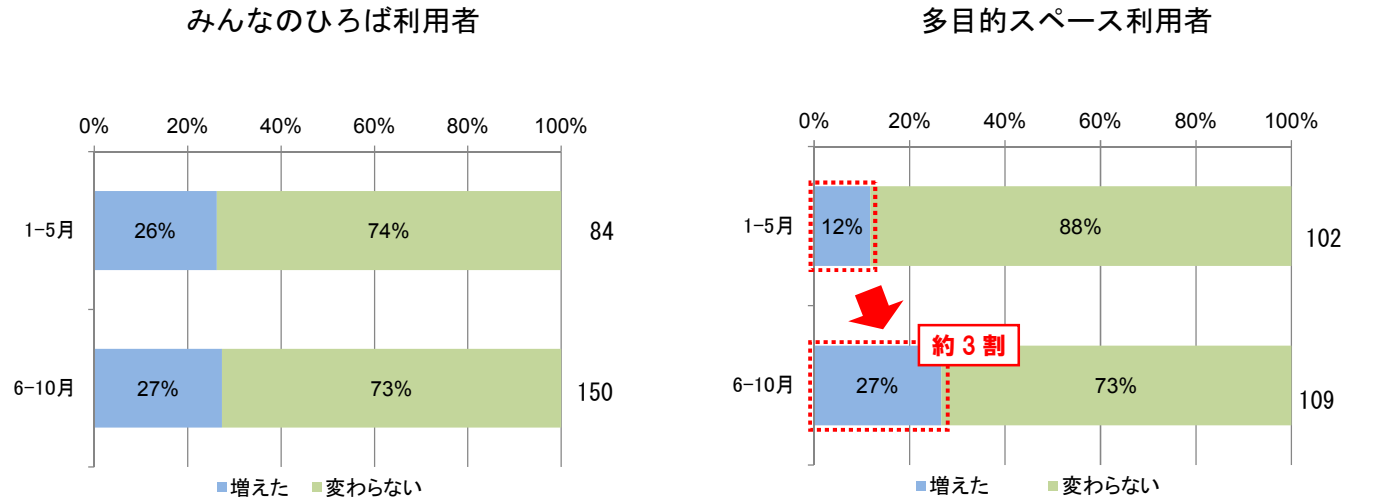
- みんなのひろば・多目的スペース利用者は、時間の経過とともに滞在時間に大きな変化は見られないが、約5割の方が「2時間以上」の長時間、まちなかに滞在している。



資料/ひろば利用者・多目的スペース利用者アンケート調査

(3) 来街頻度・滞在時間の変化（被験者の実感）

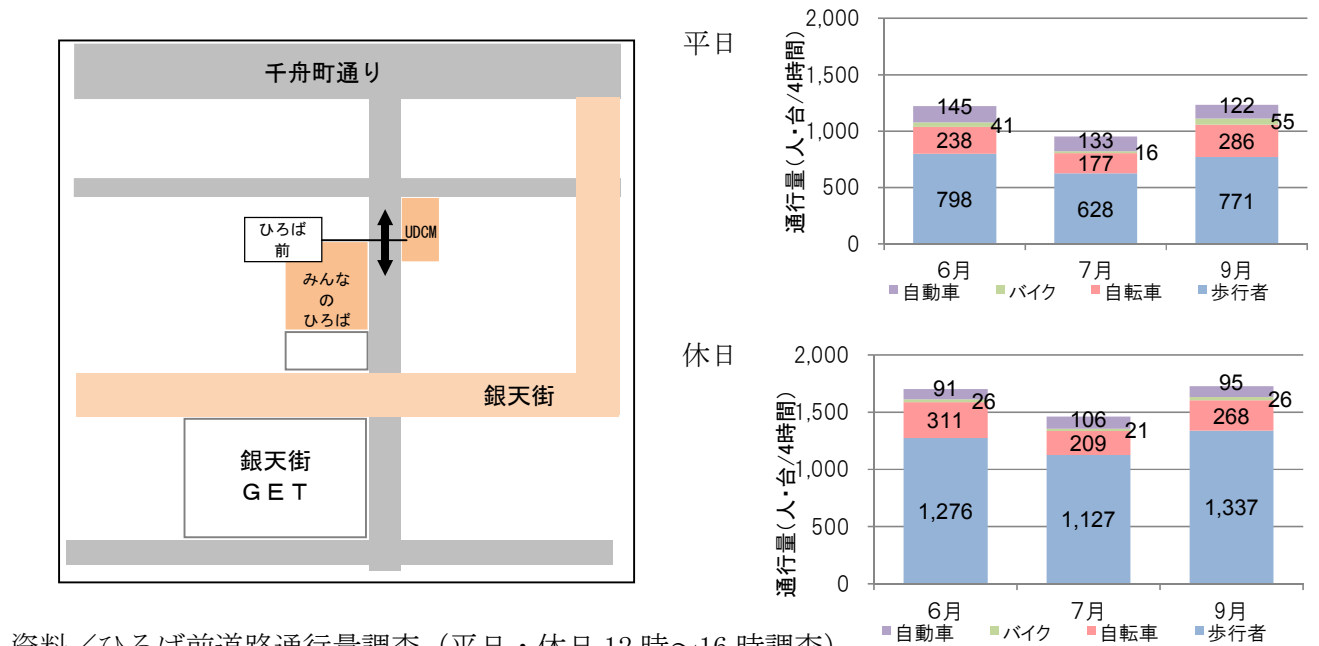
- みんなのひろば利用者の約3割が来街頻度・滞在時間が増えたと回答しているものの、時間経過とともに、変化はない。
- 多目的スペース利用者は、約3割が来街頻度・滞在時間が増えたと回答しており、時間経過と共に、約1割から約3割に増加。



資料/ひろば利用者・多目的スペース利用者アンケート調査

(4) みんなのひろば前道路の通行量の変化

- みんなのひろば前面道路の通行量は、平日で平均1,140人・台/4時間、休日で約1,630人・台/4時間となっている。引き続き季節変動等も考慮しながら、検証する。



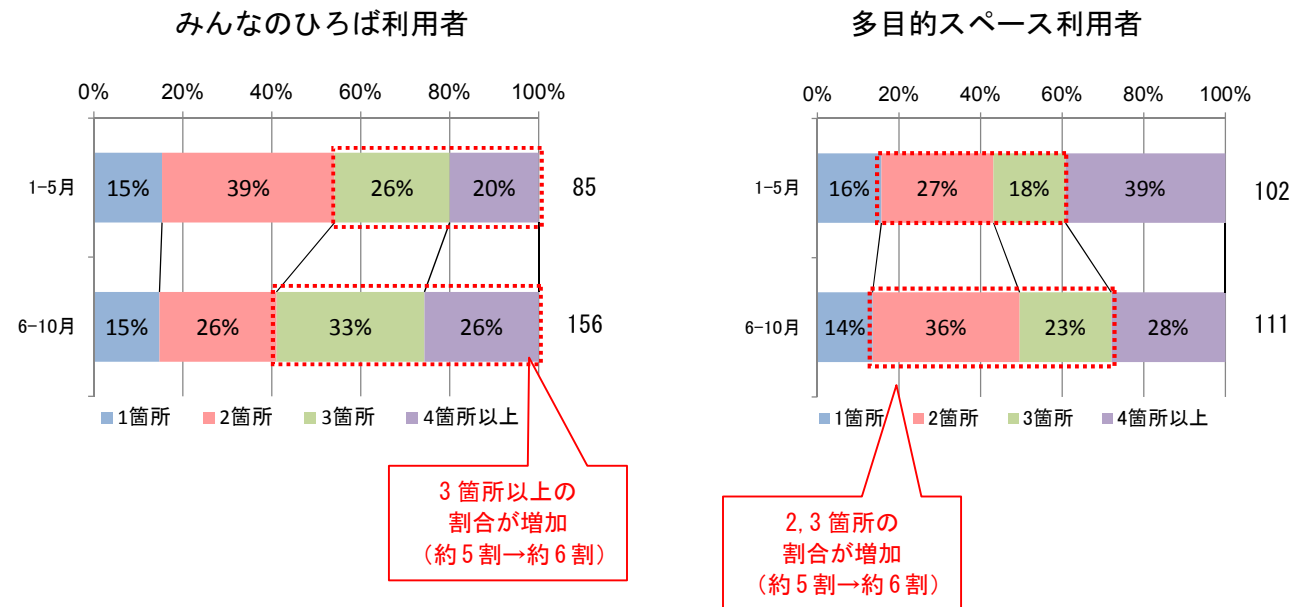
資料/ひろば前道路通行量調査（平日・休日12時~16時調査）

4. 社会実験の効果検証（中間報告）

4.5 まちなかでの立寄り回遊への影響

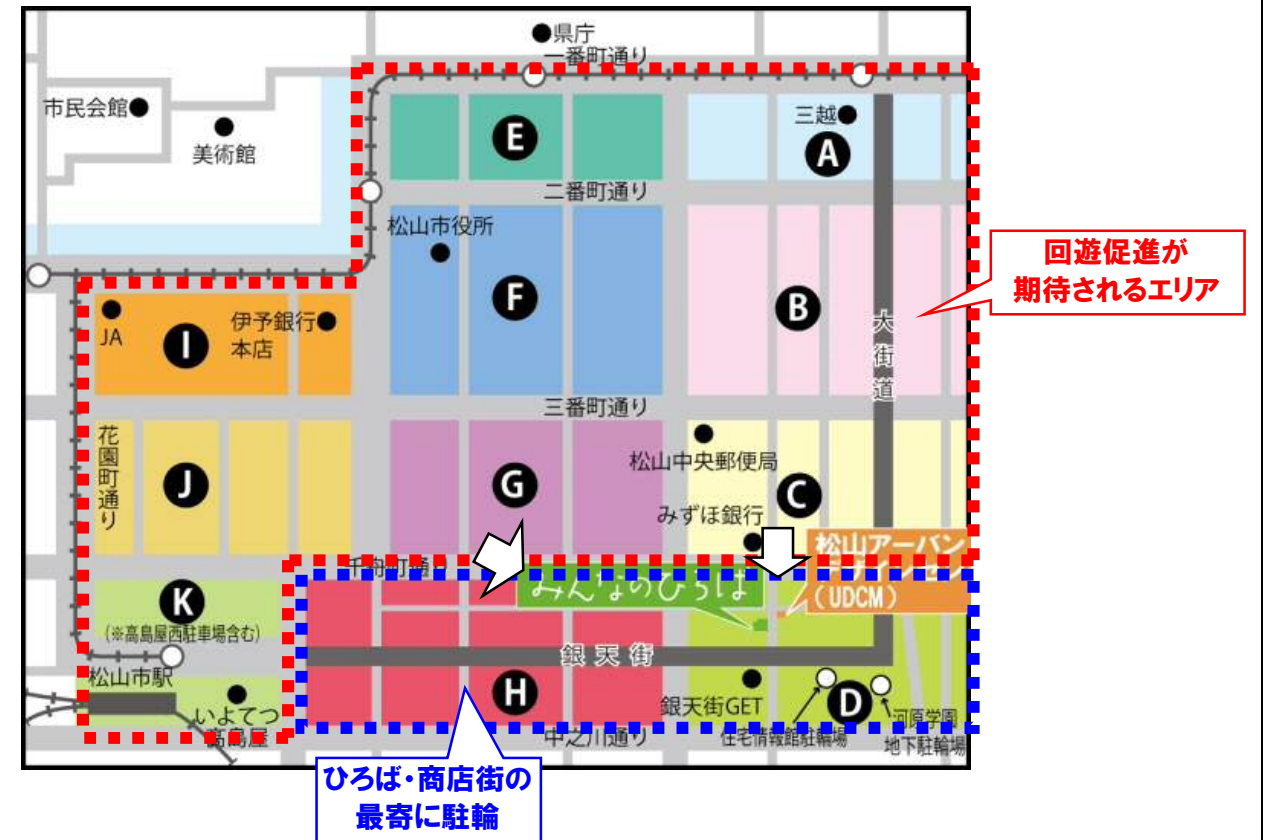
(1) 立寄り箇所数

・みんなのひろば・多目的スペース利用者ともに、オープン以降に複数箇所に立ち寄る割合が増加。



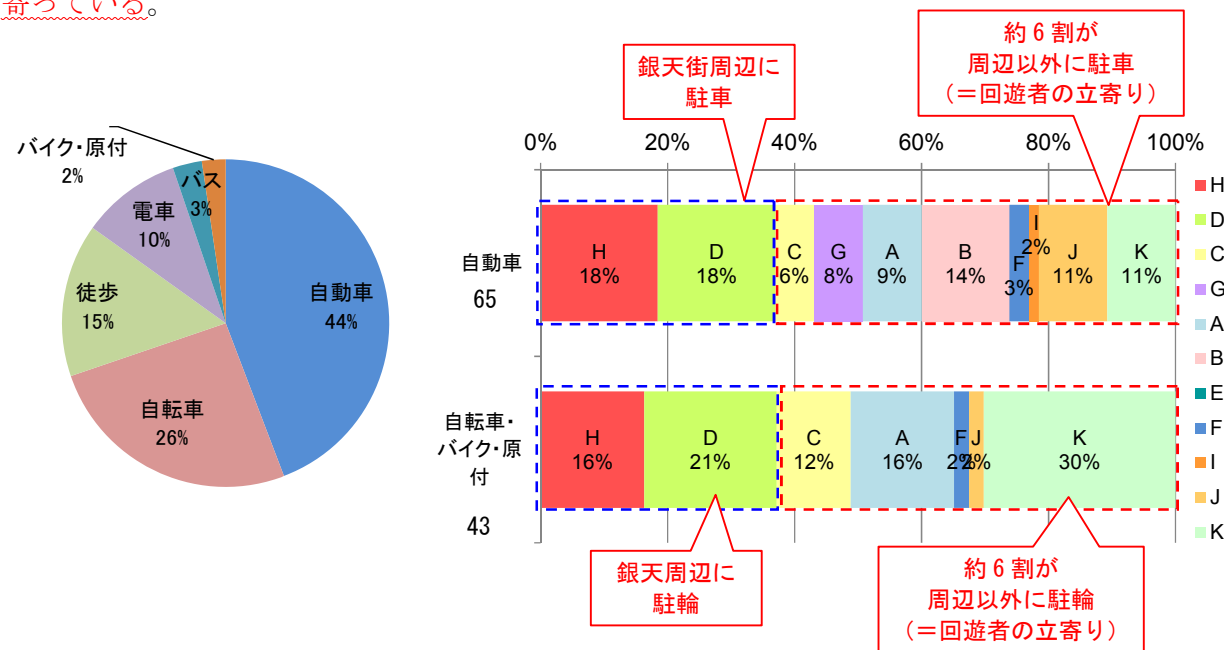
資料／ひろば利用者・多目的スペース利用者アンケート調査

(2) 来街手段・駐車、駐輪場所



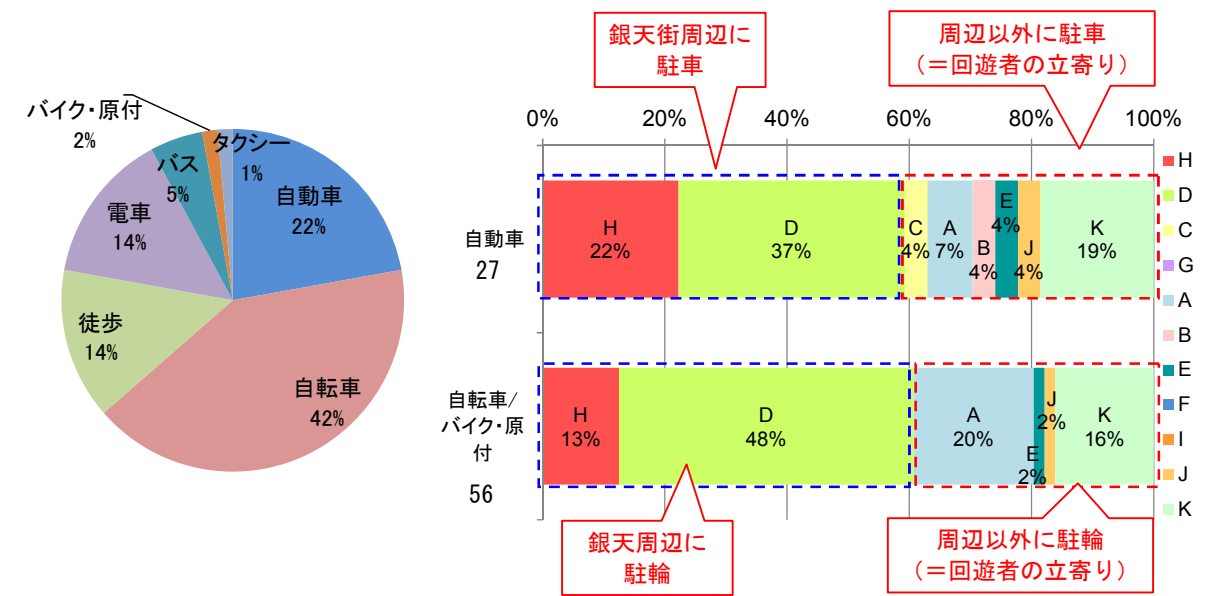
みんなのひろば利用者 (N=173)

・ひろば利用者は、ひろば周辺 [H・D] 以外に停める割合が約6割で、街なかを回遊してひろばに立寄っている。



多目的スペース利用者 (N=140)

・多目的スペースを訪れている方は、自動車・自転車ともに施設周辺の [H・D] に停める割合が高く、施設または、周辺に目的を持った利用者が訪れていることが分かる。



資料／ひろば利用者・多目的スペース利用者アンケート調査

5. これまでの運営を踏まえた課題と対策

5.1 ニーズ及び効果検証のまとめ

ニーズ・効果	対象						概要	考察・評価
	一般利用者	占有使用者	来街者	周辺住民	周辺店舗	企業		
ニーズ	3.2 満足度	●	●	●			<ul style="list-style-type: none"> ・満足度は非常に高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかに求める機能・施設（「休憩場所」「トイレ」が圧倒的多数^{※1)}）を備えていることが1つの要因。 ・一方で、来街者における利用経験者は1割～2割程度に留まる。 <p>⇒継続的にPR・利用促進を図ることで、満足度の高い利用・使用が期待され、より幅広い層からもまちなかの憩いの空間・拠点としての定着が期待される。</p>
	3.3 ひろば・施設が出来たことに対する意向				●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は良好（時間経過と共に評価向上） ・ネガティブな意見が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な利用（休憩・憩いの場・子どもの遊び場）の満足だけでなく、年間を通じての恒例行事（土曜夜市・スプリングフェスタ）などでのひろば・多目的スペースが浸透し始めたことが1つの要因。 <p>⇒店舗の評価として、近隣エリアとその他周辺では、評価に差があり、まちなか全体への面的な影響を及ぼすには、引き続き活動や時間が必要。</p>
	3.4 継続意向	●		●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・継続を希望する意向が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・「憩いの場」「子供の遊び場」「まちのイメージ向上」として評価する声が継続希望の高さに繋がっている <p>⇒市民・来街者にとって、まちなかの憩いの空間として定着してきており、短期間で辞めてしまうことを惜しむ意見も少なくない。一方、店舗にとって、「どちらでもない」という関心の薄さも課題として残る。</p>
効果検証	4.1 認知度			●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・2～3割程度（来街者） ・ただし、時間経過と共に認知度は向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の興味・関心などの趣向に依存するため、周辺住民・店舗・都心企業など近隣エリアなど一部の方々に対する認知は高まってきているが、まだ一般市民に広く浸透するには至っていない。 <p>⇒認知度の向上の余地は十分あるため、多方面への継続的なPRをすることで利用促進に繋がり、満足度の高い場所として浸透する可能性が期待される。</p>
	4.2 まちなか住環境への影響				●		<ul style="list-style-type: none"> ・「まちなか居住の魅力」⇒評価が高い ・「外出頻度」「滞在時間」⇒評価は顕著でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちの魅力」などの感覚的なイメージについては、大きな影響を及ぼしているものの、外出頻度や滞在時間などの市民の行動が変化するまでには至っていない。 <p>⇒市民の行動変容に影響を及ぼすには、中長期的な視点でのアプローチが必要であり、「憩い場・遊びの場」としての定着から、まちなかに来る新たな目的を創出する次なるステップが重要。</p>
	4.3 まちなかでの営業活動への影響					●	<ul style="list-style-type: none"> ・「人通りが増えた」「地域イメージの向上」⇒評価が高い ・「客層が広がった」⇒評価は顕著ではない 	<ul style="list-style-type: none"> ・「人通りが増えた」などの直接的な効果は顕著であるが、「客層の広がり」などの間接的な効果が発現するには至っていない。 <p>⇒地域(経済)の活性化に明確な影響を及ぼすには、中長期的な視点でのアプローチが必要であるが、人通りの増加などポテンシャルは十分あるため、継続的な取り組み・検証が必要。</p>
	4.4 まちなかのへ来街頻度・滞在時間への影響	●					<ul style="list-style-type: none"> ・顕著な効果は発現していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪頻度・滞在時間・立寄り箇所は時間の経過と共に微増しているものの、ひろば・施設ができたことによる直接的な影響かどうかは、明確ではない。 <p>⇒市民の行動変容に影響を及ぼすには、中長期的な視点でのアプローチが必要であり、「憩い場・遊びの場」としての定着から、まちなかに来る新たな目的を創出する次なるステップが重要。</p>
	4.5 まちなかでの立寄り・回遊への影響	●						

※1) 街頭インタビュー調査結果（H26.12実施）

5. これまでの運営を踏まえた課題と対策

5.2 課題及び今後の方向性・具体策

現状及び課題

【1】利用者の満足度は高い、一方で、認知度が低い、目的・活動内容がうまく伝わっていない。

- ①来街者の利用経験者は 1割～2割 (参考: 8,000人/4h^{※1} × 2割^{※2} = 1,600人)
- ② " " の認知度は 2割～3割
- ③「何をするとどこか分からない」という意見もある。

(課題)

⇒ひろば・UDCMの認知度や利用者を増やすための活動が必要。
⇒その結果、更なるファンの増加は期待。

※1) 銀天街北口通行量 ※2) みんなのひろば利用経験者の割合 (街頭アンケート結果)

【2】利用者数は着実に増加する、一方で、利用者が固定化、本来的な使い方に疑問、来街など行動変容には至っていない。

- ①雑談・休憩利用 (全休憩の6割) のうち、女子中高生が約5割
- ②来街頻度、滞在時間の向上は顕著でない。

(課題)

⇒新たな利用者層への拡大
⇒まちづくり・アーバンデザインに資する利用・活動へのシフト
⇒まちなかに来る新たな目的を創出が必要

【3】様々な活動 (イベント・行事) が蓄積される、一方で、今後の管理組織形態を見据えた活動・プロジェクトが未成熟

(課題)

⇒まちなかで暮らす人・営む人を巻き込んだ継続的なプロジェクトが必要。

【4】受付スタッフ・UDSなど学生を中心とした企画・活動が立ち上がる、一方で、周辺店舗との関わりが弱い。

- ①店舗アンケートでは、「関係ない・影響ない」との声も。

(課題)

⇒まちなか (周辺地域) によつての必要性・実用性の向上。

方向性

(1) まちづくりに関する
情報発信機能の強化

(2) 新たな利用者層への
拡大

(3) 利用促進・
きっかけづくり

(4) ひろば・施設に関わる
仲間づくり

具体策

①プロジェクト紹介パネルの
充実・即時性の向上

②まちなか模型の設置

③まちライブラリー
(図書館機能)

④ひろばのはたけプロジェクト

⑤商店街等との連携イベント

引き続き、中・長期的な視点での取り組み・効果検証が必要

6. 自主事業の活動について紹介

6.1 まちライブラリーの設置

(1) 大型書棚・蔵書の設置及び貸出サービスの開始（街なか図書館機能の新設）

①新たな利用者層への拡大

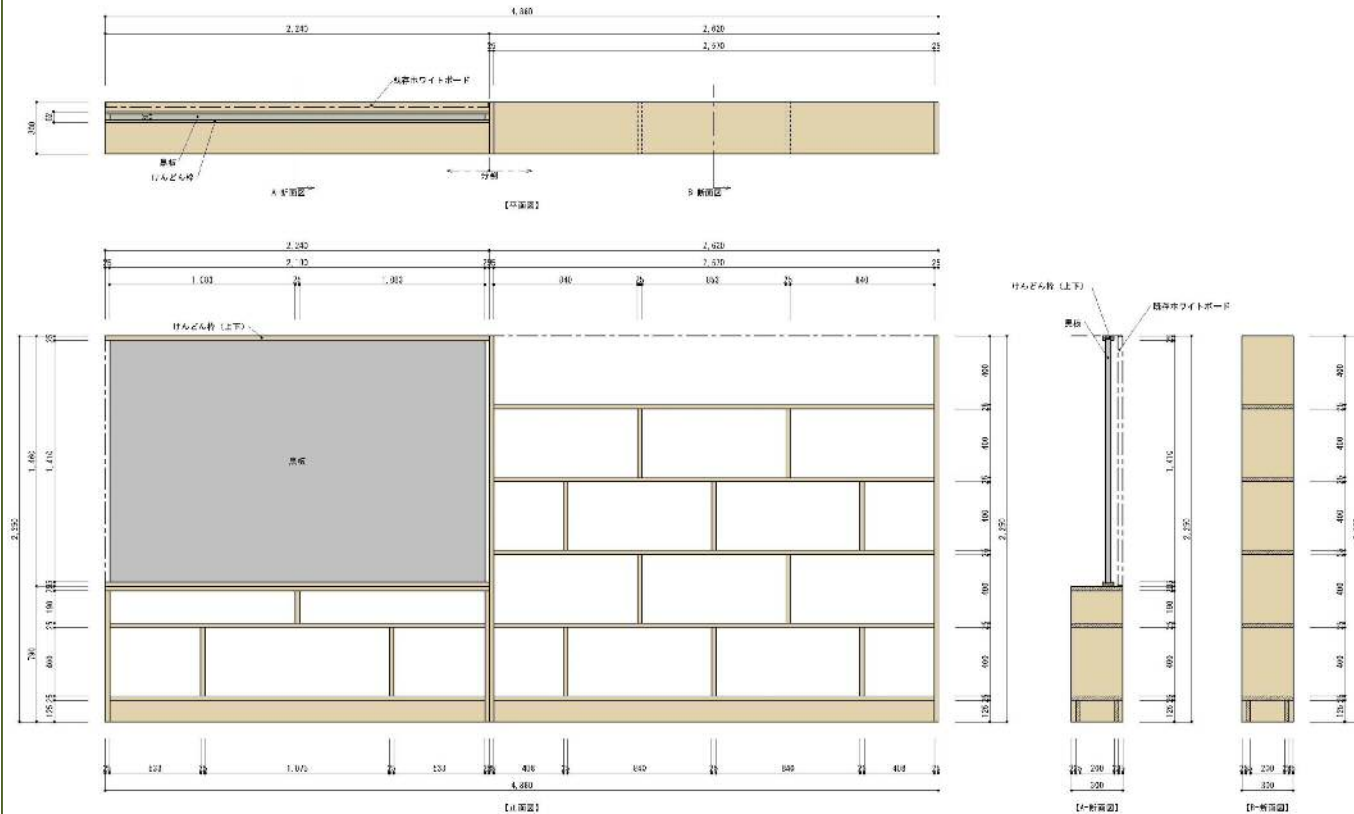
- ・利用者・使用者が順調に増加する一方で、利用者層の固定化が懸念されており、老若男女が隔てなく楽しむことができる「本」を通じて新たな利用者層の拡大を図る。

②回遊促進・賑わい創出

- ・同時期に開始される POP UP LIBRARY（まちなかの各所に本棚設置する企画：まちサーベイ主催）とも連携を図りつつ、みんなのひろば・UDCMと一緒にPRすることで、まちなかでの回遊促進・賑わいの創出を期待。

(2) 大型書棚の設置について

- ・多目的スペース1階北側（男女兼用・多目的トイレ側）の壁面に設置（下図参照）



(3) 蔵書の設置について

- ・約 430 冊を購入
 - ア) まちづくり、建築、空間設計（雑誌系の読みやすい本）の書物
 - イ) 松山の歴史・郷土史、子規関連の書物
 - ウ) 広く一般の方向けの本（旅、自然、環境、科学、暮らし、カルチャー、アート、エッセイ等々）

(4) 貸出サービスについて

- ・図書へのバーコード、利用者登録（個人情報の管理に留意）をベースに facebook のアカウントで利用できるリブライズ機能を使って貸出管理（受付スタッフが管理・対応）

(5) スケジュール

- ・11 月中に蔵書の購入・運用開始。

(6) その他：POP UP Library との連携（ひろばへのフリーライブラリーの設置）

①POP UP Library とは？

- ・まちの一角に共通の本棚を設置し、そこにメッセージ付の「本」を持ち寄り、交換しながら「人」の縁を紡いでいく活動。
- ・商店街活力アップ事業（愛媛県・松山市）+まちサーベイ（実施主体）の自己資金により本棚の設置やワークショップ等のイベントを開催。



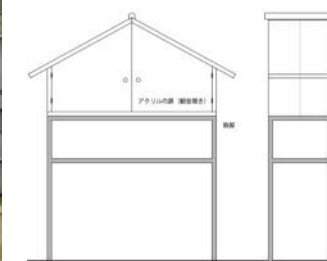
POP UP Library
イメージ

②みんなのひろばへの設置（まちかど各所の1つとして）

■設置状況

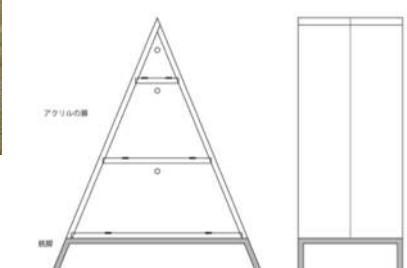


■家型本棚×1台



<素材>
木製
アクリル扉
<サイズ>
W(横)1470
H(高さ)1730
D(奥行き)450
土台：鉄製脚

■三角屋根本棚×1台



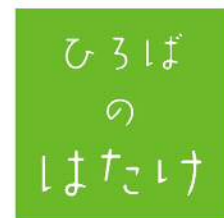
<素材>
木製
アクリル扉
<サイズ>
W(横)1200
H(高さ)1460
D(奥行き)600
土台 鉄製脚

6. 自主事業の活動について紹介

6.2 「ひろばのはたけ」プロジェクトの立ち上げ

(1) 「ひろばのはたけ」とは、

- 運 営：UDCM 受付スタッフメンバー、松本先生
- 協 力：松井氏 (**町在住の農業関係の従事者) ※本プロジェクトのアドバイザー
- 概 要：みんなのひろばに麻袋・プランター等でじゃがいもや参加者で決めた「はつか大根・ほうれん草・小カブ・サニーレタス」を植え育てる企画。
一般市民を対象に参加者を募集し、約20名が登録。



まちなかで野菜づくりはじめませんか？



何を植えるか決めることから始まり、手作りプランターで野菜を育ててみんなで収穫・試食をしようという体験企画です。

野菜は「みんなのひろば」の一角を使って育てています。育て方・やり方はメンバーのみなさんといっしょに考えながら、自由に楽しく野菜の成長を見届けます。また、アドバイザーをお呼びして様々な知恵も教えていただきます。

野菜作りを通して、親子の絆が深まったり、まちの人との交流ができたり…。楽しい時間を過ごせること間違いなしです！

みなさんもひろばのはたけのメンバーになってみませんか？

スケジュール ※日程はメンバーのみなさんと話し合っ決めていきます！

第1回	9月中旬～下旬	みんなで育てる野菜を決めよう
第2回	：	DIYでプランターをつくらう
：	：	苗を植えよう
：	：	苗のお世話をしよう
最終回	10月中旬～下旬	野菜を収穫してみんなで食べよう

お申し込み・お問合せ

ひろばのはたけメンバー、大募集！親子で、友達と、おひとりさまで…大歓迎です。ご登録いただいた方には、イベント情報・畑の様子等をメールで配信いたします。

お申し込み方法

①代表者のお名前 ②代表者のご連絡先 ③参加人数
をUDCMスタッフに直接、あるいは電話（089-968-2920）・メール（info@nigiwai-matsuyama.jp）でお伝えください。

主催：松山アーバンデザインセンター
(松山市中心市街地社会実験事務局)

(2) 活動状況

①第0回ひろばのはたけ

日時：平成27年9月26日(土)

参加：約20名

内容：

- ①登録メンバーの顔合わせ(自己紹介、意気込み、好きな野菜・嫌いな野菜 等々)
- ②企画・趣旨説明
- ③プランターに植える野菜の話し合い・投票
- ④じゃがいもの植え付け



②第1回ひろばのはたけ

日時：平成27年10月18日(日)

参加：約20名

内容：

- ①看板作り
- ②植え作業(はつか大根等)
- ③感想・アンケート

※水やりも毎日参加者が当番制でやることに決定！

(都合が悪い時のみ受付スタッフが担当)



7. 今後の進め方

7.1 管理・運営の見直し・改善について

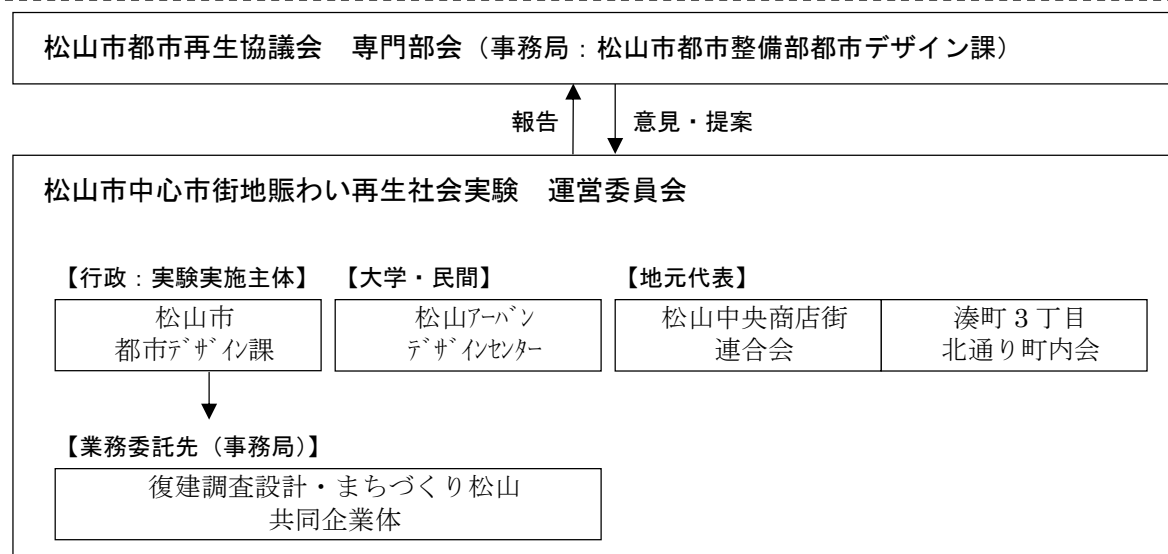
・毎月1回、運営・管理に関する会議を開催。

運営委員会	開催日時	議題	
		[共通事項]	[個別審議事項]
第1回～第3回	H26/12/5(金) H27/1/9(金) H27/2/6(金)	第3回の専門部会にて提示済み	・利用状況報告 ・ひろばの占有使用申請の審査 ・アンケート結果を踏まえた検討課題等
第4回～第6回	H27.3.6(金) H27/4/9(木) H27/5/11(月)	第4回の専門部会にて提示済み	・利用状況報告 ・ひろばの占有使用申請の審査 ・管理・運営上の審議事項等
第7回	H27/6/12(金)	(1)利用状況報告 (2)ひろば占有使用申請の審査	(3)土日祝日の利用時間延長 (4)夜市でのゴミ分別イベントについて
第8回	H27/7/10(金)		(3)夜市の活動中間報告 (4)夜市でのひろば前面道路使用について
第9回	H27/8/10(月)		(3)ひろば前面通行量調査の報告 (4)夜市アンケートの報告
第10回	H27/9/9(水)		(5)多目的スペース占有使用の審議案件 (6)交流会(M'bar)のご案内
第11回	H27/10/20(火)		(3)土日祝日の利用時間の変更について (4)「ひろばのはたけ」プロジェクト (5)懐かし遊び商店街との連携について
			(3)自主事業について (4)基準・ルールに関する審議事項

- ・みんなのひろば・多目的スペースの占有使用の手続き等における基準の見直し・簡素化について討議。
- ・下表に運営委員会での討議結果の概要を示す。

討議内容・意見等	新たな基準・審議結果
(1) 婚活イベント	・原則審議事項。ただし、公共機関が主催の場合のみ許可とする。
(2) 複数日の連続使用及び定期使用について	・公益性がある活動については別途審議を必要とせず許可する。 ・ここでの公益性とは、活動参加者が特定の団体及びその関係者のみに限定されず、広く一般市民が自由に参加することができる行事等を示す。
(3) 占有使用実績からの判断	・過去に占有使用の実績があり、その活動内容が社会実験の主旨に沿った良好な成果があった団体からの類似活動の申請については、別途審議を必要とせず、許可とする。
(4) 料金(参加費等)が発生する活動・行事について	
(5) 販売・営業行為について	・原則審議事項とする。 ・現時点ではケーススタディーとしての実績・審議実績の蓄積が重要となるとの判断から、参加費や販売等を伴う企画についても現場で断ることなく、間口を広げて社会実験運営委員会にて審議する。
(6) 音響等を伴う活動	・ただし、上記(3)の占有使用実績を踏まえつつ、手続きの簡素化については継続して取り組む。

(参考)



【運営委員会の役割・機能】

- ・定期的(月1回程度)な運営状況の連絡会議
 - ・運営上の課題に対する改善・見直し対応についての検討(報告)
 - ・利用ルールの見直し
 - ・みんなのひろば占有使用(活動内容)に対する審査
- ※アーバンデザインセンター1Fを使用する、近隣への影響が少ないと判断される使用については、松山市及びアーバンデザインセンター等の事務局にて適宜判断する。

7. 今後の進め方

7.2 今後のスケジュール（案）

時期		平成 26 年度										平成 27 年度											
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	H27/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H28/1月	2月	3月	
施設整備		駐車場解体	本格工事			オープン																	
効果検証	ひろば	利用者カウント (月4日平休)																					
		利用者アンケート (月4日平休)													+	+							
	UDC	利用者カウント (毎日)																					
		利用者アンケート (月4日平休)																					
	占用	使用者アンケート (随時)																					
	街頭	来街者アンケート (定期)						●12/27 (1ヶ月)														○ (1年後)	
	企業・店舗 住民	アンケート (定期)									● (3ヶ月)							●8/22 (半年後)				○ (1年後)	
	ひろば前道路の通行量調査 (毎月平日・休日 各1日)										● (Sフェスタ)						●					○	
	アーバンデザインスクール (月2回、金曜日)																						
	自主事業	人が集まる・回遊する	周辺情報案内																				
賑わいイベント					芝張り	工房見学																	
交流会 (M' bar)																							
まちづくりを学ぶ・考える		まちなか図書館																					
		まちの展示会 (写真・絵画・俳句)																					
【一般市民・団体活動】(占用使用)																							
プログラム等		フォーラム (全2回)																					第2回 ○
		ワークショップ (全6回)		第1回	第2回																		第6回 ○
		専門部会		第1回 (8/20)	第2回 (9/22)																		
大街道・銀天街での恒例イベント※1)																							

社会実験期間：残り4か月

◇：地元商店街や周辺店舗とのタイアップにより実施する自主事業 ●：事務局主体の自主事業・プログラム(○は予定)